

松 山 大 学 論 集
第 21 卷 第 5 号 抜 刷
2 0 1 0 年 3 月 発 行

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

宮 本 茂

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、 地域づくり手法に関する考察

宮 本 茂

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

近年、さまざまな地域で地域活性化の取組が進んでおり、効果を上げているものあげていないものもみられる。本論では、中山間地域を取り上げ、中山間地域における「先進的なまちづくり事例」を収集し、俯瞰することで、地域づくりの可能性について分析しようとするものである。併せて、同様な地域課題を抱える中山間地域の方向性を考察、提案しようとするものである。

(2) 調査方法

本稿では、中山間地域として、県単位としての鳥取県・島根県を取り上げ、両県の中山間地域のまちづくり事例に限るものとした。具体的には、活動場所が概ね都市部（旧鳥取市、倉吉市、米子市、境港市、旧松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市）以外の町村（合併前の町村を含む）である事例を収集した。これは、中山間地域における活動としていくことで、地方都市の問題は稿を改めて分析しようとしたものである。

参考資料としては、鳥取県・島根県内のホームページ、県出版の各種文献資料などによった。「先進的なまちづくり」収集事例は、明確な基準を設けず、関係文献の紹介の頻度、研究者の評価、県による評価などを参考に、筆者の独断で抽出を行った。その結果、先進的まちづくりの活動時期についても、最近

のものとして比較的緩やかで捉えている。

また、「先進的」とは、①自律型、行政と住民の連携など、他地域の参考となる事例であること、②中山間地域の長期的な可能性を示唆する事例であること、③従来とは異なるテーマ・手法で進められているまちづくり事例であること、などを想定している。

2. 中山間地域の事例の特徴

今回の作業を通じて収集した先進的まちづくりの特徴を概観する。なお、まちづくり事例の区分などについては、筆者の個人的な評価・判断であることをお断りするものである。

(1) 中山間地域における先進的なまちづくりがみられること

鳥取県での先進的な事例としては、智頭町でのゼロ分の一村おこし運動・住民自治に向けた町企画戦略課などの総合的な取り組み、さらには各自治振興区での取り組みが挙げられる。特に、智頭町新田(しんでん)集落での住民自治、人形浄瑠璃、大阪府など大都市との交流は特徴的である。こうした智頭町の先行的な取り組みが智頭町だけではなく中国地域のまちづくりの先行事例となっている。

また、旧鹿野町のグリーンツーリズム、県境付近の日野町での(株)まちづくり日野が行うチャレンジショップなどの事例もあり、中山間地域の参考となっている。

一方、鳥根県での先進的な事例としては、吉田村での鉄の歴史村、石見町の香木の森、柿木村の棚田、海士町の自由市場などなど個性的な取組がみられる。住民自治に向けた取組も比較的多い。県境を超えた取組や国際的な取組など広域的な取組もみられる。

さらに、地域資源がない、または弱い中で、地域を活性化させるための取組も多くなっている。交通条件の弱さを逆手にとった取り組み、単に観光地化を

追うのではなく、地域の良さを評価しつつ、地域の個性を売り出すような取組も多くみられる。

(2) 残っている自然，農林水産，歴史など優れた資源を活用していること

鳥取県はかつての豊かな経済的蓄積が残っていることが特徴である。例えば、智頭町では板井原、智頭街道・智頭宿、新田、岩美町では棚田、日南町では病院、直接支払制度、大山町、岸本町などでは大山の自然景観などである。また、活用資源として農林漁業資源が多いのも特徴である。鳥根県では、例えば、柿木村の大井谷棚田、吉田村のたたら、佐多町の出雲歌舞伎、多伎町の農水産資源等である。

(3) 地域ごとの個性がはっきり分かれていること

鳥取県は、鳥取、倉吉、米子周辺など都市の歴史や機能集積において各地域の特性が明確に分かれている。そのため、その周辺部の中山間地域にもかなり影響している。例えば、グリーンツーリズムは比較的交通至便な中部東部地域に、医療・福祉などは西部に多くみられる。

鳥根県は、松江・出雲地域、浜田沿岸地域、奥出雲地域、中国山地地域、隠岐地域など都市の歴史や機能集積において各地域の特性が明確に分かれている。そのため、その周辺部の中山間地域にもかなり影響している。

(4) さまざまな活動が行われていること

全体として、住民自治だけではなく、さまざまな取り組み行われている。中山間地域まちづくりの縮図ともいえるほど多種多様な方策が展開されている。

(5) 大阪・京都など大都市圏，広島市などが近く，外部に開かれていること

鳥取県は各種の歴史街道沿いにあることや山陰道、中国自動車道、JRなどを通じて、比較的関西方面との交流が活発であり、人・もの・情報・文化・学

術などの面で京阪神都市圏の影響を受けやすいことが特徴として挙げられる。

鳥根県は各種の歴史街道沿いにあることや山陰道、中国自動車道、JR などなどがあるものの、山陽側の都市圏とやや遠隔となっている。このため、浜田自動車道などが整備されている県西部を除いて、大都市からの影響が比較的弱いのが特徴となっている。

(6) まちづくりのきっかけとなる危機感などが醸成されてきたこと

平成12年の鳥取県西部地震の発生、介護保険の導入などによって医療・保健・福祉などで連携して取り組む必要性が生じたこと、過疎化によって地域の存亡の危機となったことなど、まちづくりに取り組む危機感が契機となった場合があることなどが特徴である。

過疎・高齢化が進展している中国山地地域も多く、限界集落の消滅など、地域の存亡の危機となったことなど、昭和38年豪雪や昭和47年の江の川の氾濫など、まちづくりに取り組む危機感が契機となった場合があることなどが特徴である。

(7) 地域の資源が弱い中での、活性化取り組み多い

集客力のある観光施設があるわけではない、地域資源が弱い地域において、住民パワーを中心にして活性化しようとする取組も多い。

(8) 地域全体のまとまりがある

過疎高齢化が進展している地域であり、各地域ともにさまざまな取り組みを行っている。また、問題解決型だけでなく、積極的な取り組みが行われており、比較的地域ごとのまとまりなどがうかがわれる。

(9) 県などの協力支援が積極的であること

鳥取県などの地域の取り組みに対して包括的な補助金である「鳥取県うるお

いのある村づくり事業」などを通じてジゲおこしなどの取り組みが行われてきており、こうした包括的な補助金の効果が大きいものと考えられる。

また、観光立県を目指している鳥根県の取組や、鳥根県中山間地域研究センター等の機能強化もあり、積極的な活性化の取組が行われてきており、こうしたことが現状のまちづくりにつながっていることが挙げられる。

3. 効果・資源などからみた事例分析

(1) 分析の視点

事例を分析することはかなり難しいが、ここでは以下の2つの視点から分析を行った。

①問題解決か個性伸長か

②内発か外発か行政主導か住民主導か

ほかに、③外に向けた活動か内に向けた活動か、④補助金先にありか住民発意型か、⑤危機対処型か活動漸進型か、などの分析も考えられる。

全体227事例のうち、170事例が問題解決型、57事例が個性伸長型である。全体としては問題解決のための取り組む事例が多くなっている。中山間地域の地域課題が大きさなどが影響していると考えられる。

住民・行政主導の別では、住民主導92事例、行政主導135事例で、行政主導がやや多くなっている。県を含めて、各市町村がまちづくりに取り組んだ結果であると考えられる。加えて、住民が主導する例は相対的には少ない。

(2) 資源による違い

まちづくりを行うために注目した資源があり、ここでは、①歴史文化、②農林漁業、③まちづくり、④住民自治、⑤地区施設整備、⑥道路・公園などの施設整備、⑦交流施設、⑧環境保全、⑨グリーンツーリズム、⑩観光に分類した。

その結果、全体としては広範な資源となるまちづくり、交流施設などが多く

表1 取り組んだ資源

タイプ分け	住民主導・行政主導の別	歴史文化	農林漁業	まちづくり	住民自治	地区施設整備	道路公園などの施設整備	交流施設	環境保全	リズム	グリーンツーリズム	観光	合計
個性伸長	住民主導	5	1	9	5	0	0	12	1	0	0	0	33
	行政主導	0	1	7	5	0	0	5	4	2	0	0	24
問題解決	住民主導	5	9	10	9	4	1	6	9	3	2	2	59
	行政主導	4	18	26	6	15	5	15	12	7	3	3	111
合計		14	29	52	25	19	7	38	26	12	5	5	227

なっている。また、全体として、問題解決型で行政主導型が多くなっており、中山間地域の特徴ともいえる状況である。

(3) 効果による分析

まちづくりの効果を定量・定性的に把握するのは難しいが、ここでは、①計画などがまとまったこと、②イベント、ワークショップなどが実施された、③地域が活性化した、賑やかになった、④地域の人材が育った、⑤商品化やビジ

表2 まちづくりによる効果

タイプ分け	住民主導・行政主導の別	計画などがまとまったこと	イベント・ワークショップなどが実施された	地域が活性化した、賑やかになった	地域の人材が育った	商品化やビジネスに結びついた	住民組織、NPOが組織された	誇りを感じる地域となった	合計
個性伸長	住民主導	0	8	13	8	4	0	0	33
	行政主導	3	3	9	4	0	2	3	24
問題解決	住民主導	2	17	19	0	14	6	1	59
	行政主導	7	18	54	5	13	9	5	111
合計		12	46	95	17	31	17	9	227

ネスに結びついた、⑥住民組織、NPOが組織された、⑦誇りを感じる地域となった、などの段階を設定し、分類した。

その結果、「地域が活性化した、賑やかになった」効果が多くなっており、NPOの結成、誇りを感じる地域にまでには至っていない。効果については、今後の課題と考えられる。

4. 取り組み上の問題・課題

まちづくり事例に関して課題は以下のような点があげられる。

① 中国地域特有の課題が深刻であること

中山間地域の場合、過疎高齢化など中山間地域を取り巻く状況が深刻で、まちづくりの効果を十分に発揮できていない状況もみられる。また、人口が少なく専門的人材が少ないなどのために広範な主体との連携が必ずしも十分ではないと考えられる。まちづくりへの住民一人ひとりの多様な参加が求められる。

② 島根県西部を除き交通条件が比較的弱く、都市との交流に不利であること

浜田自動車道で1時間圏内になる西部と異なり、中東部は中国自動車道等によっても、大都市からの距離抵抗が大きい。このため、特徴ある交流活動が必要となってくる。農林水産資源などを活用した時間消費型の展開が期待される。

③ 中山間地域の懐が浅い／内陸部（里山部）が少ない

日本海側地域と県境までの距離が短いため、内陸部の事例がやや少なくなっている。農林水産資源などを活用した積極的な展開が期待される。

④ 圏域内の都市と中山間の交流が弱い／地元対地元との関係が弱い

県外との都市交流が多くみられるが、今後は域内の交流連携を強めていくことも必要である。

⑤ 中心都市が弱い

鳥取市、倉吉市、米子市、松江市、出雲市など10～20万都市があるもの

の、中心都市がやや集積に欠けるために郊外中山間地域との連携がやや弱い面もみられる。合併などによる各地域間の連携や公務員のまちづくりへの参加などが一層求められている。

⑥ 自治体主導である／行政職員かつ地域内リーダー型が中心

まちづくりを行政が主導する場合も多くみられる。今後は住民自治や住民主導型に転換していくための長期的な取り組みが必要である。

⑦ 地元大学などの連携が弱い

地元大学や関係機関の集積が弱いため、県外の大学と連携する事例もみられる。県内の大学・高等専門学校など自治体や公的機関を活用することが期待される。

⑧ 女性など多様な人材の活用

人口・都市機能が限られるなかで、女性・高齢者のより一層の活用と活躍が期待される。

上記の活動を通した効果をみると、鳥取県の2005年国勢調査では、県人口は606,938人で、5年前に比べて6,351人(1.0%)減となり、1990年調査から4回連続して減少している。特に、人口減少率が大きいのは、若桜町(12.4%減)、日南町(8.7%減)、智頭町(7.8%減)など、県境の地域が目立っている。こうした地域では比較的まちづくりが活発な地域であるだけに、中山間地域の厳しい実態がうかがわれる。

また、鳥根県では過疎高齢化に伴って、限界集落の消滅、基幹集落における生活・都市機能の衰退などが懸念されている。地域活性化の取り組みが必要であるが、都市からの交流人口の拡大も限界がある。かつての都市農村交流ブームとは異なり、県庁所在都市を中心に都市に人口・都市機能の集積が進んでおり、今後は中山間地域の一層の停滞も懸念されている。

今後は、地域活性化に向けた地域住民の取り組みを継続・発展させながら、個性ある交流活動を展開しながら、滞在時間が長い又は定住型の交流事業を進

めていくことが必要であると考えられる。

5. 中山間地域の先進的取り組みの方向性に関する提言

中山間地域の取組の分析を通じて、先進的まちづくりに必要な要素としては、以下の5つに整理される。

それぞれごとに整理すると以下のとおり提言できる。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 人づくり② 場・空間の整備③ 情報発信④ 地域内での経済循環⑤ 仕組み・システムづくり |
|---|

以下それぞれについて簡単に提言するものである。

① 人づくりの考え方

取組を担う人材の育成とともに、地域に関わるすべての定住・交流者が元気に活躍できるよう、住民一人ひとりの住民参加意識の醸成、そして地域への愛着と誇りを持った住民力（人間関係資本、ソーシャルキャピタル）の向上が、何よりも重要な要素である。

■住民の参加意識の醸成、住民力の向上

住民が主体となったまちづくり、元気地域の形成を進めるためには、何よりも住民の意識醸成が重要である。

■単独、又は複数のキーパーソン（リーダー）の育成

元気地域には必ず地域を牽引していくキーパーソン（リーダー）の存在があり、今後もキーパーソンの育成や確保が重要である。さらには、活動の継続性や後継者を確保するため、単独ではなく複数のキーパーソンの育成が必

地域づくり万有の法則案

要素\類型	集客事業型 ①レジャー型	集客事業 農林水産資源等 活用型 ②	滞在・定住事業	生活機能向上事業 ①活力・賑わい 創出型	生活機能向上事業 ②生活サービスタイ	自治促進事業
1. 人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域外からの多様な交流人口を増やすこと ○おもてなしが得意な人材の育成・確保を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内の多様な人材の参加を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○元内外住民との交流機会を多くすること ○できる限り滞在時間を多くする取組を行うこと ○視野の広い人材の育成を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○住民が参加する機会を多くすること ○会の数を多くすること 	<ul style="list-style-type: none"> ○住民が取り組む機会を多くすること ○住民が話し合い場・施設を整備すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民間で多くの交流機会を多くすること
2. 場・空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○既存資源を磨きつつ、新規資源を付加すること ○地域外住民が関わる場所を多く整備すること ○地域資源のブランド化を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○付加価値を高めるための場・施設を整備すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○元内外住民の交流の場・施設を整備すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民による交流機会を多くすること ○地域の誇りとなる資源数を多くすること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民が話し合い場・施設を整備すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民が交流できる施設を整備すること
3. 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ブランド力の強化を図ること ○地域外への情報発信を進めること ○外からの視点に報を立った売れる情報を提供すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切なマーケティングを行うこと ○付加価値を付けた情報を発信すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域外の視点に立つことで地域資源を活用すること ○ブランド力の強化を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続的な話題づくりを行うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内住民への情報提供、意識啓発を行うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども、女性を含めた地域内住民に情報を提供すること
4. 地域内で経済循環	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の雇用力、地元調達率を向上させること ○地元での交流機会を提供すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域からの安定供給を確保すること ○地域の雇用力、地元調達率を向上させること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元との交流機会を多くすること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内でのコミュニケーションの育成を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内でのコミュニティの育成を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域全体で共同取り組み活動資金を確保すること
5. 仕組み・システムづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○長期的・組織的経営を行う法人づくり ○外部からの応援団づくりを進めること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内外住民で支えるシステムづくりを行うこと ○リビーターなど消費者との生産者をつなぐこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元と地元外のマッチングを行う組織・システムづくりを行うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○任意団体やNPOなどの活性化のための各種組織づくりを行うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○社協、農協などの目的別組織との連携を図ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元全体での統合的な組織（自治組織等）をつくること

要である。

■自治体の行政職員の意識改革

住民の意識醸成とともに、地方自治体職員の意識改革が行われないと、住民と行政との信頼関係は構築されず、また、中山間地域における貴重な人材である行政職員のノウハウを埋没させてしまう結果となる。行政職員の意識をいかに改革していくかが重要である。

行政職員を含め非常に多忙な職員も多いことから、こうした取組での役割分担と全体との連携協調が必要となる。

■住民以外の地域外人材の積極的な係わり・支援協力

地域の人材育成を図るためには、観光客や外部の専門家などの協力支援を得ていくことが重要である。地域では気づかないさまざまな価値観や専門的なノウハウなどを通じて、地域の人材育成が図られる。

② 場・空間の整備の考え方

先進的な取組を行うためには、地域における人と人の結びつきを強め、地域課題に対して多様な主体が連携して取り組むことが重要であり、そのため、地域の人が集まる場や空間の整備が重要な要素である。

■人のたまり場の整備，会合の開催

まちづくりの基本は対話であり、話し合い、理解することによって、地域の課題が発見でき、活動のアイデアが生まれる。そのための集まる場が必要である。

従来の年長者中心、固定メンバー中心の会合ではなく、女性、子どもなどの参加と、多様な参加形態を積極的に認めていく場づくりが必要である。

■地域づくりのきっかけとなる会合・集まりの立ち上げ

行政が地域の活動を活性化させるため、既存の組織に替わる新たな会合・組織を立ち上げることで、住民の積極的な話し合いが促進される場合がある。一方で、地域の課題に対して、行政に頼らず住民自ら行動を起こしてい

る場合もある。

集まるきっかけとなる組織（住民に、財源と決定権・選択権がある組織）を、やる気のある地域から主体性を確保しながら、立ち上げていくことが重要である。

■地域づくりのきっかけとなる施設の整備

補助事業等によって何らかのハード施設が整備され、そのことで住民の話し合い、交流が生まれ、地域づくり活動が始まっていく事例もみられる。あるいは、地域の集会所や拠点が整備されたことでまちづくり活動が進展する場合もみられる。

そのための、何らかの目に見える空間の整備が重要である。

■集まりやすいテーマの設定、提供

住民の連携や参加を促すきっかけになりやすいテーマとして、高齢者福祉や活性化イベントなどの例がある。こうした身近なテーマの投げかけが必要である。

③ 情報発信の考え方

取組みとして、地域住民での情報の共有を行うとともに、地域外の専門家のノウハウ活用や交流人口の確保を行うために、地域からの積極的な情報発信が重要な要素である。

■地域住民間での情報共有

地域住民間で地域課題を共有し、共通の地域目標を掲げた取り組みを進めるためには、意思決定過程・結果の情報公開が必要である。

■外からの視点に立った情報提供

地域の特長や地域課題を客観的に分析し、地域資源をブラッシュアップ又は新規整備していくためには、外部の視点に立った地域外への情報提供が必要である。特に、IT時代に対応するとともに、品物だけではなく、ブランド性や口コミ効果などを活用した付加価値型情報提供が必要である。

■地域外、多様な主体との情報交流

各地域住民だけでは、外部の情報は十分に入ってくるとはいえ、積極的に情報を収集することが重要である。そのためには、行政や地域外のグループ、専門家、マスコミなどとの連携を確保していくことが重要である。

④ 地域内での経済循環の考え方

地域に定住をしていく住民が生計を立てるための、経済的基盤の確立が重要であり、そのための地域での経済が循環する仕組みづくりが重要な要素である。

■地域づくりのための多様な資金の確保

人口や市場規模が限られる中山間地域では、完全自立型の取り組みが難しいことが予想されるため、補助金や活動費、財政的支援など、多様な資金を確保しながら、地域づくり活動を継続していくことが重要である。また、最終的には、補助金などの支援に頼らない自立的な活動を目指していくことが重要である。

■地域経営の視点の発揮

外部に雇用や経済が流出するのではなく、地域内に雇用の場が確保されるよう、農業や介護ビジネスなど地域に密着した就業や地域外向けのビジネスを生み出していく工夫が必要である。

さらには、継続的な活動を進めるためには、収益の確保が重要であり、経営センスを発揮していくことが必要である。

■地域に雇用を生み出すための仕組みの整備

都市部との連携、外部からの人材誘致、販売ルートの確保・拡大など、地域資源を経済的価値に換える仕組みが必要である。

⑤ 仕組み・システムづくりの考え方

住民が集まる組織や連携の場を構築した後、持続的に機能させる仕組みが必

要であり、自主的に運営が行われるための仕組み・システムづくりが重要な要素である。

■コーディネート機能の確保

多様な主体が連携し、活動を継続していくためには、主体間をコーディネートしていく機能の整備が重要である。

■自律的で、民主的な住民組織づくり

女性、子どもを含めたすべての住民が参画した組織であり、住民が自ら運営できる組織を整備する必要がある。住民が自ら選択し、自己決定、実行(決定権、実行権)していく組織が重要である。

■活動に対するサポート体制の整備

住民が地域課題に取り組むため、活動に対する財政的支援や、助言・指導、情報提供など、多様なサポート体制の整備が必要である。

簡単に上記の通り方向性を論じたが、ある意味でどの地域にも共通のテーマでありその強弱を含めて地域ごとの運用をいかに図っていくかが課題である。各地域の地域振興の取組に期待したい。

鳥取県・鳥根県内の中山間地域のまちづくり事例一覽

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
鳥取市 (旧国府町)	神垣集落の手笠踊り	神垣地区活性化協議会	傘踊りの傘を「手笠」に換えて踊る。神垣集落に伝わる独特の踊り。豊作を祈願して農家の男性が踊っていたが、農業後継者の減少に伴い一旦途絶えていたが、復活して地域の女性たちが担い手になり継承されている。町内外の催しへの発表の機会を得たことが支えになっている。	歴史文化	4	個性伸長	住民主導
鳥取市 (旧国府町)	石舟古墳、折井神社等文化遺産の保存継承による魅力発信	新井集落活性化協議会	村の婦人会、若者会などを中心に、イベントの開催や研修、勉強会、周辺地域との交流、また、「石舟の館」を拠点とした特産品の研究などを実施。子どもたちの活動は、自然観察会の実施や文化活動、伝統行事の伝承などを展開。	歴史文化	3	問題解決	行政主導
鳥取市 (旧国府町)	伝統文化・芸能(手傘踊り、獅子舞、文化祭)の継承による地域の魅力再発見	神垣地区活性化協議会	「活力と潤いのある故郷づくり」をキャッチフレーズに、住民全員参加による村づくりを進めており、多目的広場、コミュニティセンターなどの交流の拠点となる施設整備や町の無形文化財である「手笠踊り」「麒麟獅子舞」の保存継承活動、美化活動等、住民の連帯感を誘発する取り組みを行っている。	歴史文化	3	問題解決	行政主導
鳥取市 (旧国府町)	“村人一丸”で過疎化、少子高齢化などの諸問題に歯止め	神護地区活性化協議会	ジゲの魅力アップさせるため、神護の自慢できる点、問題点などを掘り起こすワークショップを実施し、諸問題の検証を行い、集落の発展に向けて意欲的に取り組んでいる。	環境保全	2	問題解決	行政主導
鳥取市 (旧国府町)	「住みよい高岡を目指して」を目標に地域一丸で取り組む	高岡活性化推進委員会	8種類に及ぶ特産品の開発、市民農園の整備、河川清掃、敬老会、昼食サービス、子どもとの古い遊びなど、どれもみんな幅広い年代層の積極的な参加が得られた。	住民自治	3	問題解決	行政主導
岩美町	荒金村づくり	荒金村づくり推進協議会	合計5回、延べ200名の参加によるワークショップ開催により、世代間の交流を図り、活性化に何が必要かを検討し合った。	まちづくり	1	個性伸長	行政主導
岩美町	岩美自然学校	岩美自然学校	岩美の自然と人を資源に、毎月第2土・日曜に泊まりがけで「ワイワイクラブ」(年間延べ600人の学生がリーダーとして参加)を行う。ボランティアの学生にとって成長する場になっている。	環境保全	6	個性伸長	行政主導
岩美町	発芽玄米の販売など付加価値のある農業の推進による村づくり	うるおいの高山づくり協議会	自然体験、農業体験などを行う拠点となる施設「高山八幡伝承館」を建築。	交流施設	3	問題解決	行政主導
岩美町	岩美町廃校校舎活用プロジェクト事業	岩美町役場自立推進課	日本庄小学校を整備し、工芸体験工房「いわみ工芸村」を、旧小田小学校2階に歴史資料保存学習施設「小田文化むら」を開設。17年度は「いわみ工芸村」に窯を設置し、旧小田小学校3階に「岩美文化むら」を開設。	交流施設	3	問題解決	行政主導
岩美町	横尾棚田オーナー田で田植え作業		「日本の棚田100選」にも選ばれた美しい棚田が広がっている。オーナー制を導入して都市部住民の参加による棚田保全の取り組みが盛んである。	農林漁業(農業)	3	問題解決	行政主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
岩美町	横尾の水路清掃ボランティア		13名のボランティアにより、水路の草を刈り、水路から草を引き上げながら清掃した。	環境保全	3	問題解決	行政主導
岩美町	地域生誕著名文化人(田村虎蔵、山本兼文)を核とした地域づくり	一寸法師の郷里づくり協議会	農産物、山菜等の直販施設「金太郎ハウス」を建築、田村虎蔵、山本兼文の顕彰碑を整備。	歴史文化	7	問題解決	住民指導
岩美町	いわみ工芸村	いわみ工芸村	廃校になった旧本庄小学校の木造校舎を改修してできた芸術文化の体験工房で陶芸、染色、絵画、機織り、草細工などの体験教室が開かれている。ギャラリーなどの付設や作品の展示会も開催されている。文化活動の発表の場にもなっている。1階部分は不登校児童・生徒のための教室と障害者の小規模作業所として、体育館やグラウンドは地域の体育館、運動場として活用されている。	交流施設	3	問題解決	住民指導
八頭町(旧郡家町)	村の総力で地区に活力を	下峰寺活性化協議会	「全地区民参加のワークショップ」と集会所を繰り返し①元気な村を創ろう ②村の歴史を繋ごう ③住みよい村にしよう ④ふれあいを広げようの4項目を柱とした「村づくり計画」をまとめた。多目的施設「水と緑の館」が完成、地区活性化・再生の拠点としながら「村づくり計画」の実現に取り組む。	まちづくり	6	問題解決	行政主導
八頭町(旧郡家町)	れしーぶ	れしーぶ	地域に小さな場所が必要と考え、売りに出た木造2階建ての民家を購入し、最低限の改修をしてオープンした。障害のある方がボランティアとして協力したり、お年寄りが子どもの世話をしたり、家族のように助け合っている。	地区施設整備	6	問題解決	住民指導
八頭町(旧郡家町)	機械の共同購入とオペレーターの育成	八頭町 上津黒	交付金でコンバインを購入してオペレーターを育成し、作業受託を行い効率的な稲刈りを実施した。オペレーターは、土日以外でも時間の都合がつきやすい人、またできるだけ若い人を対象としJAや集落のベテランの人と実際に刈り取り作業を行うことで育成した。コンバインの格納庫もオペレーターが中心となって共同作業で建設した。	農林漁業(農業)	4	問題解決	行政主導
八頭町(旧船岡町)	西谷ホンモロコ生産組合	西谷ホンモロコ生産組合	有志を募り、卵の確保、餌や温度の管理の技術などについて鳥取大学の先生や県の栽培漁業センターの支援を受け養殖に成功した。ホンモロコは、川魚独特の臭みがなく、肉質が甘く、骨が柔らかいのが特徴である。京都の料亭、関西方面へ試験出荷した。	農林漁業(漁業)	5	問題解決	住民指導
鳥取市(旧河原町)	子どもから高齢者までこころをつなげた歴史と文化の村づくり	谷一木ふれあい協議会	こころ一木の元気な村づくりに向けて、子ども会、老人会の開催、全戸参加の収穫祭、納涼祭、伝統文化の継承の取り組みとして、注連縄作り、獅子舞の検討会、田んぼの学校などを実施している。	まちづくり	7	個性伸長	行政主導
鳥取市(旧河原町)	小畑集落の麒麟獅子舞	小畑村づくり推進委員会	小畑集落の麒麟獅子舞は、一時途絶えていたが、約20年前に、小畑の獅子の舞い方、笛の吹き方が途絶えてしまうのではないかという危機感から復活して現在まで引き継がれている。	歴史文化	4	個性伸長	住民指導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
鳥取市 (旧河原町)	神馬地区でのイノシシ防護柵設置作業	神馬地区	農作物をイノシシの被害から守るための防護柵設置作業。ボランティアが参加して地区民と水田の周辺に柵を設けたほか、草刈り作業などに取り組んだ。	環境保全	3	問題解決	行政主導
鳥取市 (旧河原町)	ツーリズムの実践による起業化に挑戦	神馬村づくり推進協議会	集落の活性化を目指し、都市部の農村生活の体験を通じた交流、農山村ボランティアの受け入れに取り組んでいる。姫路市などの都市部の親子連れの農村・自然体験を通じた交流も始まり、農家民泊への取り組みにも発展している。	グリーンツーリズム	3	問題解決	行政主導
鳥取市 (旧河原町)	若者がリードするれんげいによる交流	ふれあい里小畑村づくり推進委員会	れんげまつりも14回目と回を重ね、集落総出で、手作り豆腐、山菜汁、おにぎり、パーベキュー、綿菓子等をれんげい田の中でいただいたながら交流している。収穫祭、作品展、グラウンドゴルフ・卓球大会等老人から子どもまでが参加できる集落の活性化活動も続けている。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
八頭町 (旧八東町)	ハーモニーカレッジ	ハーモニーカレッジ	動物や自然とのふれあいを通じて子どもたちを育む活動をしている。乗馬練習や馬の世話をしながら仲間同士の育ち合いの場をつくるポニークラブ、都会と田舎の子どもたちが一緒に長期宿泊体験するポニーキャンプ、ポニー教室などがある。不登校の子どもの自己回復の場である寄宿塾では子どもたちが共同生活しながら学習している。	交流施設	4	個性伸長	行政主導
八頭町 (旧八東町)	青少年育成をやりたくて1ター	個人	実施されている中野氏は、ハーモニーカレッジでの「とっとり生活体験事業」を知って応募された。ハーモニーカレッジで体験し、続けて仕事をされている。「ネイチャーコース」を任せられ、1年がかりで子どもたちと家づくりをした。	交流施設	4	個性伸長	住民主導
八頭町 (旧八東町)	安心して食べられる農産物「八東ブランド」の育成によるまちづくり	八頭町役場 八東支所産 業振興課 旧八東町地 域創造事業	パイケミ農法の実践に必要な機械の整備を主事業としながら、水稻を中心に栽培活動を実施し高品質で高値販売の手応えを得た。新しく果樹(梨)栽培も試験的に取り組み、通常栽培との比較で、糖度が1度以上向上するなど、果樹農家にとって朗報となる成果を挙げた。	農林漁業(農業)	5	問題解決	行政主導
八頭町 (旧八東町)	ホームステイ交流による地域活性化	志谷むらづくり推進委員会	現在、納涼祭、収穫祭、かじか(蛙)を見る祭などのイベント、木・竹炭、木・竹酢液の生産、パン、菓子、豆腐、味噌、餅の加工を行い、「清流の館」を拠点としたグリーンツーリズムを勉強している。	グリーンツーリズム	2	問題解決	住民主導
八頭町 (旧八東町)	村出身者とともに取り組む雪とワサビの村づくり	佐崎村づくり推進委員会	ワークショップへの取り組み、納涼祭や花火大会などのイベント、豊富にある雪を使ったイベントの開催。	まちづくり	2	問題解決	住民主導
若桜町	人と食、文化の地産地消をめざした村づくり	小船活性化推進協議会	ふれあい館を拠点とした、味噌・豆腐・そばなど集落で生産された農産物や山菜などを活かした加工品の伝承。集落の花(アジサイ)を主に集落内の植栽推進を行う。また、郷土誌の発刊を行う。	まちづくり	3	個性伸長	住民主導
若桜町	(新)瀬戸商店 Fish Zone	(新)瀬戸商店 Fish Zone	20年30年と生きるアロワナを販売。ホームページでも販売している。種類を徐々に増やし、今では成魚の数は日本最大級。発色など品質面でも最上級だと自信を持っている。	まちづくり	5	個性伸長	住民主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
若桜町	吉川集落	吉川 YYC	「吉川わいわいクラブ」を中心に、都市住民の方に「山家の暮らし」を味わってもらおうと、「山家体験教室」が開催されている。教室では、サインカー作りのほか、稲わら細工、木工細工、そば打ち、畑作業、川遊び等、山村の資源を活かしたさまざまな自然体験を通じ、都市住民との交流が図られている。	まちづくり	3	個性伸長	住民主導
鳥取市 (旧佐治村)	未来に伝える地域「五村の里」の里づくり「響け佐治谷はなし」	佐治村	佐治村は、「はなし(話)」「わし(和紙)」「ほし(星)」「なし(梨)」「いし(石)」の末尾の文字をとった「五(こ)しの里」をテーマに村づくりを進めている。佐治の民話「佐治谷はなし」の「笑い」の部分をもとにモラスな教訓を込められた笑話として再評価し、「地域の誇り」までに築き上げた。民話をめぐる多角的な取り組みは、住民・地域・行政の3者の協働によって成り立っている。	まちづくり	7	個性伸長	行政主導
鳥取市 (旧佐治村)	高齢者にやさしい住みやすい村づくり	津無集落活性化推進委員会	津無集落では部落史の作成、集落内高齢者の生きがいづくり、生活環境整備、農業振興、郷土芸能の振興など、身近な自然発生的に生まれた活性化事業を行っている。	まちづくり	3	個性伸長	行政主導
智頭町	都市との交流を契機に集落の活性化を推進	智頭町 新田集落協定	大阪いずみ市民生協と地区民との田植え、稲刈り等の農作業体験等、都市との交流を行っている。また、小学生を対象に環境について学ぶ「田んぼの学校」を実施している。人形浄瑠璃芝居が、女性グループを加えた活動へと拡大し、都市部へ出張公演を行っている。また、毎月1回のペースで教育、文化、政治、経済などのさまざまな分野の講習会を実施している。	交流施設	6	個性伸長	行政主導
智頭町	地域に根付く伝統文化と豊かな自然を活用した都市との相互交流の展開	同上	棚田や溪流をはじめとする山間地域ならではの資源や、町内各集落に古くから伝わる伝統芸能(人形浄瑠璃、麒麟獅子舞など)を活かした都市住民との交流を展開。大阪いずみ市民生協との農業体験(田植え、稲刈り体験など)、自然体験教室の開校などを通じた交流。	グリーンツーリズム	7	個性伸長	行政主導
智頭町	日本1/0(ゼロ分のおこし)運動に町づくり	智頭町	一つのテーマに基づいて地域ごとの自然、歴史、文化等の資源を活かしながら交流事業や地域経営事業を展開。新田集落：人形浄瑠璃・新田カルチャー講座、芦津集落：麒麟獅子舞・植生浄化実験、早野集落：染物教室・味噌と豆腐加工品作り、早瀬集落：竹炭・花いっぱい運動など。	まちづくり	4	個性伸長	住民主導
智頭町	「おんな山師集団」が林道の草刈りを実施	おんな山師集団	手入れされず荒れた山林を生き返らせるため、間伐をしたり、林道の整備を行ったりしている。	環境保全	3	個性伸長	住民主導
智頭町	ゆとりと活のあるタウン「智頭」	智頭町役場 総務課 文づくり推進室	町内の空き家調査と意向調査を実施し、「ちづ夢往来創造委員会」を組織して、利活用方法について住民参加で推進を図った。智頭町の一角にある江戸期の趣を残した町屋を再生し、ギャラリー「風人洞」が完成。芸術分野での発信地として有効活用する。	地区施設整備	3	問題解決	行政主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
智頭町	伝統文化を活かした都市との交流の地域経営	中島集落振興協議会	伝承館が完成し、伝統的な山林技術の伝承を行った。今後、農産物加工設備、木材加工設備を整備し、経験者からの技術伝承を行い、村の特産品を生み出し、村の経営の一助とする。伝承館を起点に体験型グリーンツーリズムの展開を図る。	グリーンツーリズム	3	問題解決	行政主導
智頭町	三世代同居の村づくり	五月田集落振興協議会	村の伝統的な事業「考え地蔵祭」を行い、文化・歴史の継承が行えた。果樹公園、既存の田畑を使っての体験学習を行って、五月田流村づくりを進める。	歴史文化	3	問題解決	住民主導
智頭町	「杉の雫・吟醸の会」酒米の田植え体験	杉の雫・吟醸の会	酒作りに欠かせない美味しい水や、その水を供給してくれる豊かな森林を守るという目的で、以後独自に森を守る活動を実施するほか、環境にやさしい酒米作り、酒作りの文化に触れる活動を実施している。	農林漁業（農業）	3	問題解決	住民主導
鳥取市（旧鹿野町）	住民と協働する訪ねるまちづくり	鳥取市鹿野町総合支庁産業建設課	鹿野町の地域資源の発掘（地域資源活用アドバイザー・地域資源活用コーディネーター委託）、住民が考えやすい環境づくり（観光データデジタル化等）、住民のまちづくりに対する意欲を向上させるための事業（観光ボランティアガイド育成・地域おこしリーダーの研修）を進めている。	まちづくり	1	個性伸長	行政主導
鳥取市（旧鹿野町）	伝統的な町並みの再生による産業化	いんしゅう鹿野まちづくり協議会	空家となっていた伝統的建物を活動拠点「鹿野ゆめ本陣」として整備し、藍染め体験、そばアイスの製造などを行っている。また、食事処「夢こみち」をオープン。地域の産物を食材に、鹿野の伝統工芸品すげ笠を器に用いた「すげ笠弁当」が好評。	地区施設整備	3	問題解決	行政主導
鳥取市（旧鹿野町）	しかのグリーンツーリズム in 鬼入道	しかのグリーンツーリズム in 鬼入道	「しかのグリーンツーリズム in 鬼入道」を立ち上げ、民泊での体験交流の受け入れを始め、美しい水と空気を活かして都市部からの稲作り会員を募集するほか、年間を通じて季節ごとに提供できるさまざまな体験メニューの構築を積極的に行っている。	グリーンツーリズム	3	問題解決	住民主導
鳥取市（旧鹿野町）	農家民泊を軸とした都市住民との相互交流の推進	旧鹿野町	農家民泊をベースに、地域の農業（関西圏を中心に稲刈り会員を募集し、「安心・安全な稲作り」体験）や自然を活かした都市との交流を展開。	グリーンツーリズム	3	個性伸長	行政主導
鳥取市（旧鹿野町）	温泉とそばの相乗効果で人気の農産物直販所	㈱「ふるさと鹿野」(第3セクター)	農産物直売所「鹿野おもしろ市」では、会員が野菜、果実、花などの農産物を中心に、豆腐・せんべいなど加工品、木工・民芸品などを販売している。直売所以外にも国民宿舎、温泉入浴施設、そば打ち体験施設も管理・運営している。直売所は、温泉入浴施設に隣接し、駐車場には足湯の施設、そば打ち体験施設の出店のそば屋が併設している。	交流施設	5	問題解決	行政主導
湯梨浜町（旧泊村）	「住みたい楽園」なまめなかえ	園区会	もち米作りから餅つき大会、区民運動会、伝統文化「ええ子ええ子」伝承に関する取り組みなどを行っている。生産されたもち米を「鳥取ほんもの市」でPRしたり、園地区にある保安林を憩いの場所作りとして清掃するなどの活動を行った。園区会の目指す将来像は、「楽園」をつくることとしている。	住民自治	2	問題解決	住民主導

市町村名	事例名	実施主体	概 要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
湯梨浜町 (旧泊村)	協定参加者 全員で耕作 放棄地を復 旧	湯梨浜町・有 山ノ上・有 山ノ上	数年間管理されていない耕作放棄地の灌木の伐採・抜根や草刈りを協定参加者全員で行い復旧した。病害虫の発生抑制にもつながった。共同取り組みによりイノシシ防護柵を設置したことで被害が減少した。	環境保全	4	問題解決	行政主導
湯梨浜町 (旧東郷町)	地域資源を住 みかきまし まよづくり	舎人地区元 気の出るふ つと推進 協議会	舎人地区では“舎人ジゲおこし祭り”、“ごみのリサイクル活動”、“ホテルにアイ・イ・タ・イ”等の活動を行っている。	まちづくり	2	問題解決	行政主導
三朝町	いきいきサ ロン開催に よる老人と 子どもふれ あう地域 づくり	悠々坂本21	三徳山の学習会、大津市坂本地区との交流のほか、三徳地区に生育する珍しい三徳桜の開花時期に合わせて観音堂まつりを開催。また、住民がいつでも助け合っよう、暮らしを暮らせるよう、生き生きサロン(福祉と健康づくり)を実施。	観光	2	問題解決	行政主導
三朝町	あったか三 朝温泉情緒 プロジェクト	三朝町役場 産業課 地 域創造事業	世界屈指のラジウム温泉や世界遺産登録を目指す三徳山「国宝投入堂」など類稀な資源や歴史文化資源がある。温泉情緒再現プロデューサーを中心に郷土芸人「三朝温泉あったか座」を公演。温泉街整備の一環として「空き店舗の有効活用」や「音による温泉街の情緒づくり」、ホスピタリティの向上を目指した「ガイドマイスター資格認定制度」に取り組む。	観光	3	問題解決	行政主導
三朝町	三朝温泉の あったか座	三朝温泉観 光協会	「温泉情緒再発見プロデューサー」が地元で白狐太鼓、壁塗りさんこ、さいとりさし、三朝小唄などをやっている人に声をかけて始めた伝統芸能の公演で、夏(7月～8月)と秋(10月～11月)の毎週金曜日と土曜日の夜に三朝橋の側の広場で公演している。	観光	3	問題解決	行政主導
三朝町	地域の再生	福田振興協 議会	ダム建設中止を契機に、集落の将来像を描いた振興計画(福田ルーラルアムニティプラン)を策定し、地域の再生に向けてさまざまな取り組みをしている。女性会が中心となって豆腐や味噌の加工を始めたり、原料となる大豆を共同栽培している。	まちづくり	3	問題解決	住民主導
三朝町	新住宅団地 との新たな コミュニティ づくりによる 地域活性化	牧わいワイ がやガヤの 会	収穫祭、運動会、集落農園、ガーデニング教室などの交流会を実施し、住民同士が「顔を合わせる」場を作っている。また、青壮年部や女性会の組織をつくり、集落のリーダーの育成に取り組んでいる。	住民自治	3	問題解決	住民主導
三朝町	集落内バリア フリー化高 齢者による 村づくり	下谷振興協 議会	集落の将来像を描いた「21世紀の明るい村づくり構想」の実現に向けて話し合い、まずは女性を中心に農産物の加工、販売を始めた。	まちづくり	5	問題解決	住民主導
三朝町	みんな健康 づくり自主 防災活動に 取り組む村 づくり	衆々健康西 小	西小鹿には伝統ある集落行事(大黒さん祭・秋葉さん祭・日天さん月天さんほか)が数多く残る。また、防火に対する意識が高く、消防団活動が盛んである。このような活動をベースにしながら、子どもから高齢者まで参加できる健康づくり活動や、集落の歴史伝承活動を展開する。	住民自治	1	問題解決	住民主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
三朝町	美しい水と自然を活かした村づくり	赤にごの会	「赤にご」はサワガニの方言で自然豊かな吉尾の代名詞である。おいしい吉尾の水のPRや、農地の保全学習会、住民全員が楽しめる行事等を実施する。	環境保全	2	問題解決	住民主導
倉吉市 (旧関金町)	「浅井もちっこ倶楽部」の田植体験	浅井もちっこ倶楽部	田植えから稲刈り、餅つきまでを行う農業体験。田植機に乗っての田植作業体験も行われた。	農林漁業 (農業)	3	個性伸長	行政主導
倉吉市 (旧関金町)	蒜山山麓の県境で周辺市町村が地域特産物の展示、販売	道の駅「大挾」	新鮮な野菜や地域特産品(わさび、椎茸、乳製品など)の販売、水産物の販売、地域の食材などを利用した食事の提供や、喫茶など休憩コーナーが設置されている。生産者と消費者との交流として、年1回、11月～12月頃に「峠まつり」を開催している。	交流施設	5	問題解決	行政主導
倉吉市 (旧関金町)	農業農村整備事業と多面的機能(カウモ井手地域)	集落	「日本一のグリーンツーリズムの郷づくり」を目指し、『水車の郷づくり』を推進している地元組織を中心にイベント(どろんこ祭り)を開催し、カウモ井手の水路下り・休耕田でのウナギつかみ・溪流での岩魚つかみなどを行っている。夏休みには地元小学生を対象に用排水路・溪流等で水中昆虫などの「自然観察会」を開催し、休耕田にソバを蒔き、秋の収穫に併せ、ソバ打ちを行っている。	環境保全	2	問題解決	行政主導
倉吉市 (旧関金町)	「新緑会」水路清掃の実施	新緑会	地区の大切な財産である農地を維持することを目的にボランティアの協力を得て管理作業を実施。	環境保全	3	問題解決	住民主導
倉吉市 (旧関金町)	野添のため池周辺整備作業	野添どんづまり会	野添のため池を憩いの場としようとして、周辺の草刈り、休憩所の床張り、植栽、安全柵作りに取り組んだ。	道路・公園等の施設整備	3	問題解決	住民主導
琴浦町 (旧東伯町)	人と人・人と土地を結んで村づくり	倉坂活性化協議会	子どもたちの意見で屋外時計の設置やバス待合所を建設し、また「人と人・人と土地」を結びつけるための活動として、高齢者と子供の交流、川に親しむ活動(魚の放流)、シイタケ栽培、IT講習会などを行っている。	環境保全	2	個性伸長	行政主導
琴浦町 (旧東伯町)	大阪から1ターンして梨農家に	個人	実施されている鶴田氏は新聞広告で「とっとり生活体験事業」の募集を見て、大阪から転居された。体験をされ、二十世紀梨モデル園で梨作りをしている。	農林漁業 (農業)	4	個性伸長	住民主導
琴浦町 (旧東伯町)	農業に自信と誇りをどう	琴浦町役場農林水産課旧東伯町地域創造事業	「東伯町の活性化及び観光PR」に向けてキャンペーンを実施。合併後、「安全・安心」「新鮮でおいしい」農畜産物のPRのため町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・消費者と生産者との交流を実施し、地産地消の運動を展開した。都市農村交流として、岡山生協・エフオーブとの交流、町民への地産地消の啓発として、米をテーマにした映画の上映会、地産地消フォーラムを開催した。	農林漁業 (農業)	7	問題解決	行政主導
琴浦町 (旧東伯町)	住民自らが楽しむ「楽農」による地域内交流	野田地区	「農的生活」「楽農」「遊農」といった新しいスタイルの農山村集落を実現する。1年間に約1,100名のお客様を迎え交流を深めている。さらに、食農教育として、中学生のそば作り農業体験学習を手がけている。	グリーンツーリズム	3	問題解決	行政主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
琴浦町 (旧東伯町)	「住み続けたい集落づくり」をめざして	別宮地区	公民館、運動広場を活用し、世代間の交流を進め、心の通う活動の拠点とし、集落住民憩いの場、高齢者の生きがいの場とする活動を展開。盆踊りの30年ぶりの復活では、高齢者の方を講師に事前練習会を開き、地域の伝統文化に触れ、継承していく取り組みができ、盆踊りもにぎやかに開催できた。	道路、公園等の施設	2	問題解決	行政主導
琴浦町 (旧東伯町)	野田工房「そばの花」	野田工房「そばの花」	「知る人ぞ知る」名所で、そのときどきにとれる地元の素材だけを使うため同じメニューになることはない。できる範囲でやるため、完全予約制（5名以上）になっているが、そば打ち体験もでき、料理のいわれや山菜などの素材の説明を聞くこともできる。	交流施設	3	問題解決	住民指導
琴浦町 (旧東伯町)	みんなで集う村づくり	倉坂活性化協議会	ダム建設のための土を取ったために「はげ山」になっている山に実なる木を植えて「恵みの森（仮称）」を作る計画を進め、冬場に第1期の植栽を計画。その森を「住民憩いの森」として、東屋などの施設を作る計画。	道路、公園等の施設	1	問題解決	行政主導
琴浦町 (旧赤碕町)	赤碕自慢の特産品で目指そう活指ろある	赤碕町漁業協同組合	学校給食での地産地消に取り組み、また、赤碕の食材を使った特産品を開発し、PRしている。赤碕の特産品としてアゴの串天等を開発しているが、今後、目玉商品を開発し、イベントなどでのPRにも力を入れていく。	農林漁業（漁業）	5	問題解決	行政主導
琴浦町 (旧赤碕町)	一集落一営業による起業化を進める村づくり	21世紀やまごく村（山川木地）	農産物加工施設の完成により、手打ちうどん・そば・餅・味噌・炊き込みご飯などを作り、観光客憩いの場食事処「さくらの里」で、提供している。	農林漁業（農業）	5	問題解決	住民指導
琴浦町 (旧赤碕町)	緑あふれるはたるの里づくり	別所いいところろう会	まだ多く残っている自然を子どもたちに残そうと歩いて確認。大きな目玉を「ほたるの住める場所の確認」とし、農業散布問題、餌となるカワニナの確保と、歩みを進めている。	環境保全	1	問題解決	住民指導
琴浦町 (旧赤碕町)	さくらの里	さくらの里	赤碕町山川木地集落（21世紀やまごく村）では赤字だった食堂兼売店の「さくらの里」の経営を集落で引き受けて再生させた。食堂中心に改善することとし、厨房、客席を改修し、うどん粉、そば粉を打って提供し、地元でとれる四季折々の山菜も出すようにした。	交流施設	3	問題解決	住民指導
琴浦町 (旧赤碕町)	豊富な品揃えや学校給食への取組みなどで売上3億円	道の駅「ポート赤碕」	日本海でとれた新鮮な鮮魚（タイ、メバル、イカ、カニなど）を消費者に安く提供している。活魚類のほか、地元の土産物や地域で生産された木工品などの販売、「じげの味コーナー」では地元で生産されたみそ、しょうゆなども販売している。12月上旬に生産者と消費者との交流として、「カニまつり」を開催する。	交流施設	5	問題解決	行政主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概 要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
琴浦町 (旧赤碕町)	特産のミニトマトの加工品	JA鳥取中央女性会赤碕支部とまるとフレズ	ミニトマトの加工は、7月(収穫開始)～11月頃(収穫終了)まで、JA加工施設(エプロンハウス)を利用して行っており、ジュースとスナック菓子の商品開発を行った。各種イベント、Aコープ、農産物直売所等での販売、「まごころセット」(味噌・梨餡とトマトスナック菓子などを詰め合わせた)をふるさと宅配便で販売。小学生の体験学習(収穫、加工)の受け入れ、地元の学校給食へ味噌、ケチャップなどの提供もしている。	農林漁業	5	問題解決	行政主導
南部町 (旧西伯町)	倭元気が出る地域づくり委員会	倭地域づくり委員会	地域内の人の趣味や特技を活かし、それぞれのリーダーとし、活動を始めた。回を重ねることに参加数が増え、延べ参加者は1,096人にもなった。活発な意見交換ができ問題解決も苦にならない。	まちづくり	4	個性伸長	行政主導
南部町 (旧会見町)	ノームの糸車	ノームの糸車	福祉作業所「ノームの糸車」は、知的障害者を引きこもりの方が、羊毛フルート加工、織り物、木工、ドールハウス(建築模型)作りなどの仕事をしている。羊毛体験講習、羊毛の加工品なども模索中である。	交流施設	4	個性伸長	住民主導
南部町 (旧会見町)	逢見山荘	逢見山荘	ケアハウス「逢見荘」は、県産杉で建てた自宅を障害者が家事能力や協調性を養い自立するための体験実習や宿泊研修の場として提供、現在養護学校の児童生徒や障害者施設の方が利用している。	交流施設	4	個性伸長	住民主導
伯耆町 (旧岸本町)	カエル工房	カエル工房	「カエル工房」を開設。ホームページにて通信販売をしている。「カエル工房」の名前が売れてきて博物館、水族館の売店、カエルグッズ専門店などから注文がくるようになる。博物館展示用の模型の注文も受けるようになる。	まちづくり	5	個性伸長	住民主導
伯耆町 (旧岸本町)	交流を推進しよる丸山を活性化しよう	丸山集落活性化推進委員会	別荘定住者など観光リゾート施設に来られる方との交流を行うための「ふれあい祭」の開催、農業を通じての交流を図る「米フェスタ」、地域での交流を行う「納涼祭」、「村祭」などのイベントを行っている。	まちづくり	2	問題解決	行政主導
日吉津村	「ふれあい言葉」を地産地消を推進	JA鳥取西部	農産物直売所「ふれあい村アスバル」を開店し、旬の地場農産物700品目を超える商品を販売している。生産者が旬の農産物の持ち込み、価格設定を行う。調理方法のわからない野菜は特徴・簡単レシピなどを書いたパンフレットなどで情報提供。施設内の多目的スペース「パルスーション」を利用し、ふれあい交流もかねて料理講習、漬物講習会、ガーデニング教室などを行っている。	交流施設	5	問題解決	行政主導
大山町	ハープロードいどべ	ハープロードいどべ	大阪から大山に転居し、独力で勉強、ハープ園を開園した。ホームページの開設や木工、リース、トルペイントの体験教室なども始めた。ふれあい型観光農園をしている。	まちづくり	5	個性伸長	住民主導
大山町	三世代の交流によるコミュニティの再生	国信村づくり委員会	集会施設、蜜の川の建設と運動広場整備を行った。村づくり意識高揚の取り組みとして、三代交流ランドゴルフ、桜まつり、秋祭り「やっこ」の開催などを行った。	道路・公園等施設整備	2	問題解決	行政主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
大山町	清原でみどり大豆の種まき	大山町まめな会	みどり大豆の種まきから加工までを、地域の人たちと楽しく農作業を体験する交流イベント。10月に収穫し、12月上旬には収穫祭として、豆腐や大豆料理を体験する。	農林漁業(農業)	2	問題解決	行政主導
大山町	インターネットによる地域おこし	大山町役場	インターネットの啓発普及活動。地域おこし活動推進方策の調査研究。障害者の社会参加支援。会員間の経験交流、情報交換など。	まちづくり	7	問題解決	行政主導
大山町(旧名和町)	『古くて新しい文化に出る風景を原風景に元気づける』	古御堂・文殊領・原地区元気づけ委員会	地区住民のアイデアを出し合い藤公園管理棟建設に着手し、藤まつりなどの活動でボランティアの輪を広げた。①「わいわい」にぎわい観光交流活動 ②「いきいき」わいわいコミュニティ活動 ③「わくわく」みわくの生涯学習活動 ④みんなで楽しく『藤公園(仮称)』づくりをテーマに基づく地域活性化事業に取り組む。	観光	2	問題解決	住民主導
大山町(旧中山町)	もっと元気に！3フル推進の村づくり	塩津村づくり委員会	集会所の建設のほか海岸清掃などを行った。3つのフル(★パワフル塩津(子ども～お年寄りまでの「縦の交流」の促進)★ビューティフル塩津(歴史伝統の再発見と継承活動)★ワンダフル塩津(居住生活環境の整備))を推進	まちづくり	3	個性伸長	住民主導
鳥取市と日南町	誠道こども阿毘緑地区	誠道こども事務局(誠道集会所)	鯉のぼりパレード、高齢者との七夕コンサート、月見、芋掘り、しめ縄作り、田植え体験など、農作業や季節の伝統行事を復活する活動をしている。付添いの大人に子どもたちを知ってもらう機会にもなっている。日南町の水源涵養林での間伐・枝打ち体験などを行っている。	住民自治	3	個性伸長	住民主導
日南町	緑と自然にあふれる環境林づくり	日南町役場まちづくり推進課地域創造事業	環境林指導員と全国からのボランティア「緑のふるさと協力隊」2名を中心に、年間1,000名以上の個人、グループ、企業などを受け入れている。「月いちボランティア」と称して林業と炭焼きを組み合わせた体験や、花粉症の方々による杉や檜の間伐体験などのユニークな活動も行った。	環境保全	4	個性伸長	行政主導
日南町	ふるさと日南邑ファンムイン	ふるさと日南邑ファンムイン	オールシーズン楽しめる体験民宿。7～8月は日南邑特産品のトマトの収穫、9～10月のサツマイモ掘り、10～11月は宿の隣の栗園で栗拾いができる。テニスコートやグラウンドがあり、スポーツも楽しめる。食事もボリュームたっぷり。	交流施設	3	個性伸長	住民主導
日南町	ゆきんこ村四季彩	ゆきんこ村四季彩	野趣あふれる料理を堪能、周辺の見所もいっぱい。天文台広場での星空観察(4月上旬～12月上旬)を楽しんだり、ゆきんこ祭(2月11日～14日)ではスノーモービルにも乗ることができる。	交流施設	3	個性伸長	住民主導
日南町	地域で支える高齢化社会～誰もが優しい～	日南町	日南病院の医師や看護婦による往診・訪問看護活動(出前医療)。ホームヘルパー、保健師等が情報を共有し連携して高齢者を支えるしくみ。日南郵便局の郵便配達時の声かけ活動及び消火器の携帯。県境サミット(中国山地県境市町村連絡協議会)による図書郵送サービス、福祉公用車無償レンタル制度の実施。女性グループによる独居老人や高齢者世帯への給食サービス。	まちづくり	6	問題解決	行政主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
日南町	住民協働のもたらす地域再生	生山自治会	地区の集会所「生山自治会館」の完成により、これまでも増して住民が一致団結し「田舎芝居」などの伝統行事や敬老会、恒例となったふるさと祭や花火大会などに取り組んだ。世代間交流や防災対策、清掃美化作業などの活動も盛んである。	住民自治	3	問題解決	行政主導
日南町	日野川源流にちなん環境の発信	日南町役場総合政策課地域創造事業	にちなん環境林には約500名の町内外の子どもや大人が訪れ、探索や学習会、間伐や炭焼きなどを体験し、各々が源流域の自然を感じた。活動拠点として簡易宿舎の泊施設も整備。地域住民や地球緑化センターと連携し、訪れた人が源流域からのメッセージとなるような活動を展開している。	環境保全	3	問題解決	行政主導
日南町	地域コミュニティの再生による商工業の振興	生山自治会	「生山自治会館」を建設。20年ぶりに復活した敬老行事、冬の花火大会などを開催。昭和28年に発生した「生山大火」からちょうど50年目であることから、防災啓蒙のための活動にも取り組んだ。	住民自治	2	問題解決	住民主導
日南町	自然体の地域交流と魅力再発見	大菅活性化委員会	活性化センターを中心に交流や生産活動を展開。おいしい豆腐や味噌作りや、境と山」民の森を介した子どもたちの「海と港」交流事業など、地域にある資源をすべて活用しその魅力をまず住民が再発見することから取り組んでいる。	農林漁業（農業）	5	問題解決	住民主導
日野町	愛と元気なまちづくり	菅福元気邑	食文化伝承加工施設「菅福食文化伝承館」を拠点に、そばの生産・収穫・手打ちそば体験、芋掘り体験、田植え・稲刈り体験・新米バイキング、豆腐・こんにゃく・味噌作り、炭焼き体験などの講習会・生産活動などを週1回のペースで実施しており、旧習「ほとと」の復活イベントにも取り組んでいる。	交流施設	2	個性伸長	住民主導
日野町	訪れてみたい暮らしてみたいスマートタウン	㈱まちづくり日野	チャレンジショップ事業（出雲街道根雨宿一番館：特産品等商品販売、出雲街道根雨宿二番館：そば道場）、FAX宅配事業、ショッピングバス運行事業。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
日野町	菅福元気邑加工グループ	菅福元気邑事務局	廃校となった小学校の跡地に整備された「菅福食文化伝承館」を活用して食品加工を行うこととし、製造を開始した。添加物がない地の豆を使った豆腐、生芋から作ったこんにゃく、日野町特産米「すずはたまち」を使った餅が作られている。	地区施設整備	5	問題解決	住民主導
日野町	オシドリグループ	オシドリグループ事務局	日野町根雨の日野川に飛来するオシドリは、現在は800羽を数え、自然に生息するオシドリを観察できる、全国でも数少ない名所になっており、県内外から見学者は年々増えている。地元では、川の清掃、草刈り、植樹など、オシドリが住みやすい環境づくりが行われている。	観光	3	問題解決	住民主導
日野町	『女性グループ12名、農産物の加工、販売で地域を活性化』	菅福食文化伝承館	毎週金曜日に加工グループ（地区の女性12名）が食文化伝承館に集まり、豆腐、こんにゃく作りを行っている。2月には地元産米、大豆を使用したみそを仕込み、10月に榎だし販売、また年末には、日野町産モチ米「鈴原もち」を使用した正月用のもちの生産販売を行っている。年間6回程度イベントにも出店している。	交流施設	5	問題解決	住民主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
江府町	保健・福祉・医療の連携した地域活性化	江府町役場福祉保健課地域創造事業	地域での健康づくり、支え合い、地域活性化を進めるためのボランティアグループを育成し、それぞれの地域で独自の活動をしている。また、健康づくりの啓発及び福祉に対する理解を得る機会として、健康福祉まつりを開催している。	住民自治	6	問題解決	行政主導
江府町	尾之上原でのキャンプ場周辺整備作業	個人	オートキャンプ場の周辺の散策道の草刈作業などが行われた。	道路・公園等の施設整備	3	問題解決	行政主導
江府町	地元産トマトを利用した特産品の加工・販売	江府町 美用集落協定	コンパインの購入、格納庫、交流施設(集会所)兼加工調理室、体験牧場の建設や、集落内の女性を中心に美用レディース加工グループを結成しハウストマト(青)の加工により、相漬、ケチャップ、ジャム、焼き肉のたれの販売を行っている。	まちづくり	5	問題解決	行政主導
江府町	「みちくさ市」を核とした人と地域資源との地産地消と情報発信	みちくさ推進会議	週5回の直売所営業と月1回のイベントを行っている。江府町産品だけにこだわった品揃えと地産地消の取り組みとして、学校・保育園などへの食材供給をはじめ栽培講習会、食品表示に係る講習会などにも力を入れている。高齢者やボランティア団体との交流、神戸市魚崎町との物産交流などにも取り組んでいる。	地区施設整備	2	問題解決	住民主導
江府町	みちくさ市	みちくさ推進会議	地域の会員により運営されている特産品直売所で、会員がそれぞれ自慢の農産物、加工品、工芸品などを持ち寄り、会員と専任の店員1人で販売している。会員21人、週1日でスタートして、現在会員70名で週5日開店している。月1回のイベントが好評。町内小中学校・保育園の給食、独居老人の宅配サービスへの食材提供もはじめた。	交流施設	3	問題解決	住民主導
伯耆町(旧溝口町)	鳥取ネットワークサンス溝口町行動計画の実践による地域創造	伯耆町役場企画酒振興課地産地消推進事業	本町と友好関係にある中国沧州市及び呉橋県に町民を派遣し、文化・芸術・スポーツを通じた友好交流を行うことにより、訪問先の文化・歴史等を学ぶことにより、国際的な視野を持った人材を育成し、町民の国際意識の高揚と国際理解の醸成を図る。	住民自治	4	個性伸長	行政主導
伯耆町(旧溝口町)	高齢者の技を活かした伝統技術による地域活性化	福岡三区活性化協議会	新たに整備した集会施設を拠点に、戦前栄えた「たたら製鉄」の伝統を受け継ぐ木炭生産の技術の継承を中心に、地域内に活気が出た。今後、炭窯を使った陶芸、木炭生産時の副産物「木酢液」、木炭の商品化、木炭を入れる「ダツ」の製作など、伝統技術の継承と地域に根ざした事業に取り組む。	歴史文化	5	個性伸長	住民主導
伯耆町(旧溝口町)	地域資源を活かした交流と伝統技術の継承による活性化	間地集落活性化協議会	活性化拠点施設「間地ふれあい会館やまじ」の加工場に、味噌、豆腐作りの加工機器を整備。共同栽培した大豆を使った豆腐は、イベントで販売され評判を得る。味噌も含めて通常の販路の開拓を研究、検討している。復活した伝統行事「賽の神」を継続。	地区施設整備	5	問題解決	住民主導
松江市(旧美保岡町)	美保岡町まちづくり会議	最愛の故郷を最も愛する後世に	いま、本町はどのような問題を抱えているのか、そして今後どのような方向に進むべきなのか、など美保岡町の現状を把握して、住民の目から見た声を反映させる。「美保岡通信」(機関紙)を出版。	住民自治	6	問題解決	住民主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概 要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
東出雲町	上意東地域づくり委員会(特産振興組合)	自然環境を生かした産物振興と高齢者の環境整備	特産品の開発〔ふるさとの資源を生かした特産品〕、シルバーセンター〔自然環境を生かした健康づくりとゆとりのある施設(昔の民家)と人の交流、情報の交流に依る心の健康づくり〕。	環境保全	3	問題解決	行政主導
東出雲町	どいご・あだかえ・シンポジウム	地域住民の連帯感と郷土愛の掘り起こし	遊びを基調に毎年1回地域課題をテーマに各層からのパネラー・基調講演による話し合いを深める。1部：遊びの展開、2部：シンポジウム、3部：交流会と3部構成となっている。『ふるさと文化の再発見と創造』を出版している。	環境保全	2	問題解決	住民主導
松江市(旧八雲村)	ゆうあい熊野館	温泉を利用した滞在型施設と農産物直売所で活性化	(1)ゆうあい熊野館(滞在型保養施設)とホットランドやくも(クアハウス)、温泉水プールを備えた交流促進センター)を提供。豊富な温泉を利用し交流の場を提供。(2)地元の農産物を使った交流イベント(八雲温泉祭り「コシヒカリ祭り」を開催。(3)農産物直売所「くまの百笑市」で八雲産新鮮野菜を販売。	交流施設	3	問題解決	行政主導
松江市(旧八雲村)	庭火祭実行委員会	かがり火を焚いて行う国際民族音楽祭	庭火祭の伝統を再現し、古の器に新しい火盛る神酒を注ぐように、世界の国々の伝統芸能の中からかがり火にふさわしい曲を選び、ユニークかつレベルの高い国際民族音楽祭として公演する。パンフレット『庭火祭国際民族音楽祭 in 八雲熊野大社野外コンサート』(第1～4回)を出版した。	歴史文化	2	問題解決	住民主導
松江市(旧宍道町)	宍道町文化国際協会	町民文化の振興と地域の国際化	『ギャラリーC』というまちのミニ文化ホールを中心に、コンサート、展示会演劇、国際交流事業などを行う。また、町民の自主的な文化活動や伝統芸術文化の発表の場を提供している。	交流施設	2	問題解決	行政主導
松江市(旧宍道町・旧主湯町・旧鹿島根町・旧八束町・旧美保関町、東出雲町、斐川町、安来市、出雲市(旧平田市含))	中国経済連合会日本(旧山陰振興委員会)	中海・宍道湖連合都市圏構想	中海・宍道湖を取り巻く周囲を鉄道で結ぶ8の字ネットワーク化を行い、中核都市づくりを目指す。企業誘致や新産業の創造、社会基盤整備を通して地域の経済基盤の強化を図っている。また、高齢化社会に積極的に対応すると同時に、若者の定着を図り、山陰地域全体の振興を図っている。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
安来市(旧広瀬町・旧伯太町・雲南市(旧横田町))	中国山地県境市町村連絡協議会、日南町	エメラルドプロジェクト	鳥取、島根、岡山、広島との4県にまたがる市町村により、中国地域県境市町村連絡協議会が結成され、行政サービスの効率化、シンポジウム・スポーツイベントなどの交流事業、インターネット事業、地域バスポートの発行、特産品開発などを多岐にわたって行っている。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
安来市(旧広瀬町)	菅原青空グループ	女性グループが地域活性化に貢献	婦人部内で「菅原青空グループ」を結成。農産加工の共同研究に取り組み、福神漬け、梅のかりかり漬け、なすの千両漬け等の加工・販売を始めた。広瀬町内のJAたすぎ広瀬支所、栄支所の2カ所で販売している。また、広瀬小学校の給食食材としてほぼ毎日納入している。ほかに年3回程度「地元野菜を食べよう」を主とした食育活動や広報誌「菅原青空だより」を発行している。	農林漁業	5	問題解決	住民主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
安来市 (旧広瀬町)	いきいき比田の里農産物等加工部会	農産物の加工販売で地域振興と都市との交流を図る	「比田の里いきいき市場」を開業し、地元農産物を使った惣菜(白あえ、煮しめ、きんぴら、揚げ出し豆腐等)を販売している。原料は地元生産者から直接購入。加工品は同市場のほか湯田山荘、JAマーケットに委託販売し、季節品として笹巻きや節句のひし餅等を「ゆうバックふるささと便」として全国に販売するほか、イベントにも積極的に参加している。	農林漁業	5	問題解決	住民主導
安来市 (旧伯太町)	伯太町矢白ヶ市西	活力漲る峠之内	峠の内地区の集会施設建設し、子どもパソコン教室(児童生徒にパソコンの使い方を指導)、地区交流活動(カラオケ、映画鑑賞会、運動会等)、伝統行事等のを継承(盆踊り、古事記の神話伝承等)を行った。	地区施設整備	3	問題解決	行政主導
奥出雲町 (旧仁多町)	仁多町	農山村に調和した交流の拠点づくり	自然資源活用型交流促進施設「玉峰山荘」を整備。宿泊、地域食材提供室などを備えた施設。温泉を活用した健康増進施設を併設。地域住民や都市住民の参加により自然観察会や花田植え等イベントを開催。	グリーンツーリズム	3	問題解決	行政主導
奥出雲町 (旧仁多町)	仁多町上布施	明るく活気ある「ふるさと」づくり計画	ウォーキングの集いの開催、そばの生産・加工技術講習会、高齢者パソコン研修会など、「若者会」を中心に集落内の交流を充実させ活気ある集落づくりを行った。また、鳥獣害被害の防止のために街路灯やゴミ収集箱の整備も行った。	まちづくり	2	問題解決	行政主導
奥出雲町 (旧仁多町)	仁多町下町、坂根町	上阿井工芸の里づくり	地域の高齢者を中心とした工芸教室の開催(わら細工、竹細工、木工など)し、次世代へ技術継承や世代間交流を進めた。また、パソコン教室、無農薬野菜の講習会などを開催し、集会所を中心とした活動を進めるとともに、自然観察会の拠点として参加者に開放。	交流施設	2	問題解決	行政主導
奥出雲町 (旧仁多町)	伝統文化伝習センター	伝統文化伝習センター	「かしら打ち」、「花田植え」などの伝統芸能伝習施設。	交流施設	3	個性伸長	行政主導
奥出雲町 (旧横田町)	いきいきアグリ馬木	『産直ボックス便で季節の恵みと香りを届けます』	産直ボックス便は、6月の笹巻き便、8月上旬のお盆便、11月上旬の秋の味覚便、年末のお正月便と年4回発送している。旬の農産物や昔からの伝統食を中心に、正月飾りリース等、バラエティー豊かな内容である。昔からの加工・保存食品がメインのため、地域の高齢者の加工・保存技術の伝承・吸収にも取り組んでいる。	農林漁業	5	問題解決	住民主導
奥出雲町 (旧横田町)	かたくりの里 民宿たなべ	かたくりの里 民宿たなべ	山小屋風の建物で、日本三大美肌温泉の一つ斐之上温泉のツルツル湯を引く風呂で体を癒すことができる。体験として、春に山菜採り、秋にキノコ狩りができる。また、自然観察として春にカタクリの花、初夏にブナ林の新緑、秋の紅葉と森林浴を兼ねて楽しめる。川遊びや源泉湯を利用した浅瀬のプールでの水遊びも楽しめる。	交流施設	3	個性伸長	住民主導
雲南市 (旧大東町)	大東国際文化交流協会	国際交流活動による地域づくり	アメリカはインディアナ州リッチモンド市(姉妹都市)との交流。早稲田大学留学生のホームステイ受け入れ。町民の海外研修に対する助成活動。	まちづくり	6	問題解決	行政主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
雲南市 (旧加茂町)	加茂町 Feel-21委員会	個性あふれる町づくり	1. フラワーステーション活動。(公共施設や各種大会への花の提供) 2. 一鳥運動会(バードゴルフ場の芝生管理) 3. 牛乳パックの回収運動。4. 赤川まつり、花火籠流しの開催。5. 国際交流。(オーストリア・ガンダカイ市との交流を計画中) 6. 町内図書館の設置検討。『遊学かわら版』を出版。	環境保全	3	問題解決	行政主導
雲南市 (旧木次町)	木次町	“桜”によるまちづくりと地域間交流	斐伊川堤防の両側に町民の手によって植えられ、町のシンボルとなっている。さきすき桜まつりの期間中に、ほんぼりやライトアップの点灯により夜桜を楽しむことができ、各種イベントも用意されている。芝生で整備された堤防の小段で、清流のせせらぎを聞きながらの花見ができ、河川敷が駐車場として利用できる。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
雲南市 (旧木次町)	木次町上槻, 下槻	21世紀の集落づくり	インターネットホームページによる農産物の直販を行った。また、パソコンを整備し、収穫祭等による都市間交流や高齢者向けのパソコン教室を実施。葬祭の簡素化、花いっぱい運動、環境問題への取り組みも実施。	環境保全	3	問題解決	行政主導
雲南市 (旧木次町)	木次町7区	健やかで明るく楽しい八日市	八日市地区に伝わる「八日市盆踊り」継承のため地区全体での盆踊り大会を開催し、子ども達に伝えていった。また、パソコン教室を開催し、新たな活動の推進と交流を進めた。ほかに環境美化、花づくり、注連縄づくりなどを行った。	歴史文化	2	問題解決	行政主導
雲南市 (旧木次町)	木次町18区	最適な自治会の環境づくり	隣接している三日市地域福祉サブセンターを活用して、自治会グランドゴルフ大会、季節の料理教室、各種文化教室(手芸、書、絵画など)、中高年のパソコン教室、ミニ文化祭を開催した。また、鳥獣被害の防止のために街路灯やゴミ収集箱の整備を行った。	地区施設整備	2	問題解決	行政主導
雲南市 (旧木次町)	湯村子ども会「青年部」	子どもたちに将来思い出になるものを1つでも多く作ってやりたい。	1. 湯村子ども会の指導。2. 毎日当番で交替交替で地区内便所掃除。3. 湯村ジョギングコース駅伝大会企画、運営。4. 毎月1回の定例会。5. 年1回の県外への研修視察旅行。	住民自治	3	問題解決	住民主導
雲南市 (旧木次町)	つわもの会	我等は明日の町づくりの為にあらゆる努力を惜しまない	町づくり活動全体。看板作成。教育講演会の実施。	まちづくり	3	問題解決	住民主導
雲南市 (旧木次町)	湯村若者会「湯和会」	ふれあいの場若者の手で	1. とんど祭り 2. ボーリング大会 3. レクリエーションスポーツ大会 4. 花見 5. 地区納涼大会 6. 湯村ジョギングコース駅伝大会開催	まちづくり	2	個性伸長	住民主導
雲南市(旧三刀屋町・旧吉田村・旧掛合町・旧大東町・旧加茂町・旧木次町)	雲南農業振興協議会(管内5町村とJA雲南(事務局)で構成)	『量販店及び農産物直売所での道の駅農産物の販売』	松江市内の大型スーパーに農産物直売所「もりもり奥出雲」を、雲南市木次町の駅の駅に農産物直売所「たんびにきて家」を常設。「奥出雲」のイメージを前面に野菜、果物、花きや、加工農産物を販売している。	農林漁業	5	問題解決	行政主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
雲南市 (旧三刀屋町)	三刀屋町御城山	おらが村にもパソコン導入	集会所の整備(改造)するとともに、パソコンを導入し、世代間交流を促進。また、家庭での不要になった本を持ち寄って「子供文庫」を開設した。料理教室や集落のイベントにも活用した。	地区施設整備	2	問題解決	行政主導
雲南市 (旧三刀屋町)	三刀屋町中町2	中町第二集落レインボープラン	空き家を改修した集会所を拠点に、従来の地域活動に加えて、納涼祭、パソコン教室、男性の料理教室等の体験活動など独自の7つの活動を取り入れた企画を「レインボー活動」と位置付け、全員参加で実施。	地区施設整備	2	問題解決	行政主導
雲南市 (旧三刀屋町)	三刀屋町明石	いきいき明石高度情報プラン	パソコン教室を開催することで全員がパソコンを活用できるようにし、コミュニティの維持やU・Iターンを図った。パソコン配備により集落内の回覧文書や連絡事項をパソコン通信(インターネット)で行い、常会や各種集会を減らし各戸の負担軽減を図った。	住民自治	3	個性伸長	行政主導
雲南市 (旧吉田村)	吉田村	鉄の歴史村による地域づくり	備吉田ふるさと村(特産品の開発、加工、販売の強化、管工事、村営バス運転業務の委託)。(財)鉄の歴史村地域振興事業団(鉄の歴史村施設の管理運営、鉄の歴史フォーラム、近代たたら操業の実施)。	歴史文化	3	問題解決	行政主導
雲南市 (旧掛合町)	掛合町竹之尾	健康長寿日指す里	冠婚葬祭に集会所を利用することとし、備品等の整備を行った。また、健康料理教室、子ども対象のお菓子教室、隣接集落との交流を行った。パソコン導入により老若男女共通の話題をもち交流を進めていくとともに、農作物を鳥獣被害から守るため囲いおりを整備した。	地区施設整備	2	問題解決	行政主導
雲南市 (旧掛合町)	掛合町北迫	元気ががんばる事業	観光地である龍頭が滝の入り口にあることから、環境整備(草刈り、枝打ち等)を行ったり、ゴミステーションを設置することで環境・景観に配慮した。また、パソコンを集会所に設置しインターネットの活用やメールによる交流を行った。	環境保全	3	問題解決	行政主導
雲南市 (旧掛合町)	アミーゴの会	自分たちが出来る事からやってみよう!	本を集め、輸送費捻出のための花市の基本的活動を中心に行う。地元の高校生に呼びかけ、アミーゴの活動、また地域のボランティア活動にも参加。	住民自治	6	問題解決	住民主導
雲南市 (旧掛合町)	掛合町活性化委員会知恵袋22	明るく魅力ある豊かな地域社会づくり	1.いいとこ発見隊。(掛合町内のいいところを再確認するコースを組み立てて参加者を募集して実施)2.グループ交流会。(町内のグループを集め、町づくりを考えたり情報交換を行う)3.視察研修・学習会。	まちづくり	2	個性伸長	住民主導
飯南町 (旧頓原町)	飯南町安波岐	農事組合法人の設立による農作業の効率化	省力化、低コスト化に向けて、全作業の共同機械化を図りトラクター、乗用田植機、格納庫等を整備、集落全体で地域の農地を守っていく気運が高まった。このような中、大型機械の整備・更新や担い手の育成を図り、さらに収益性の高い農業経営の確立を図るため農事組合法人「大安伸」を設立した。	農林漁業	6	問題解決	行政主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
飯南町 (旧頓原町)	都加賀高原の郷づくりの会	豊かな自然と古くから引き継がれてきた歴史と人々を軸とした交流の活性化	標高957mの「沖ノ郷山」の登山道の整備や案内板を設置し、登山者の入込みを待ち受けた花弁、野草の施設園芸を中心とした農業振興を推進する。地域の活性化を進めるのにこれまで培われてきた歴史や文化を保存し、訪れる人々との交流により心のふれあいを大切にしたい取り組み。	環境保全	3	問題解決	住民主導
飯南町 (旧頓原町)	飯南町産業振興課	滞在型市民農園「志都の里クラウン」	施設は、約120㎡の農地と、日常生活を行うことができる宿泊施設「ラウベ」で構成され、同施設内には共同利用できる作業工房と調理室を備えたクラブハウスの、炭焼き小屋等、豊かな自然と農村との交流ができる施設。1年契約で最長5年間まで更新できる。	交流施設	3	個性伸長	住民主導
飯南町 (旧赤来町)	飯南町	地区住民全員出席の総会	赤来町は、町内8地区に分け「自治振興組織」によるコミュニティ運営を進めた。「上赤名自治振興協議会」は、成人した住民全員に意志決定権を与え、「自治振興組織」について地区へ説明する際「全員集会」を開き、総会は委任状も含め地区住民全員の参画を基本としている。役員も地区住民全体の中から選んでいる。	住民自治	6	問題解決	行政主導
飯南町 (旧赤来町)	飯南町	地域自治組織と合併	集落機能の充実強化、住民生活の安心と安全の受け皿確保、住民の自主的・主体的な活動の展開、行政と住民との協働を目的に、町内8地区での組織設立に至る。	住民自治	6	問題解決	行政主導
飯南町 (旧赤来町)	赤来町井戸谷下	井戸谷下IT革命	パソコンを各戸に配置し、集落内ネットワークにより地域内交流を進め、インターネットを通じて他地域との交流ふれあひ活動に広げた。また、集落の回覧板として活用やインターネットの活用を進めた。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
飯南町 (旧赤来町)	夢志の会	バリ島に夢志の館を建設しよう	1.地域活性化のため、本物の芸能、芸術に触れる機会をつくろうと各芸能、演劇公演の主権を行う。2.狂言師を招いての講演、狂言公演。3.テフ・パベットシアターによる視覚劇「さくらものがたり」の公演。	まちづくり	2	問題解決	住民主導
飯南町 (旧赤来町)	グリーンクラブ福田(GCF)	夢と希望と活力ある福を目指して	赤名湿地植物群落があることから「山野草の森」を整備して環境保全活動を展開した。特産品の開発を手掛け、「ふれあひ市場」で4月から11月まで毎日新鮮野菜や加工食品、花などを販売している。大根とそばの栽培を全員で行い、イベント食材として利用、ゆうバックとして販売も実施している。	環境保全	6	問題解決	住民主導
斐川町	JA斐川町農産加工場	転作田のひまわりで「食用ひまわり油」の加工、販売	(1)瑞穂管農組合が転作田約23haでひまわり栽培。(2)ひまわり油(栽培品種は搾油用「ハイブリットサンフラワー」)の製造販売。搾油後の絞りかすは肥料として還元。(3)イベント「ひまわり祭」を開催。地元特産品、農作物の販売や「ひまわり写真コンテスト」等を行う。	農林漁業	5	問題解決	行政主導

市町村名	事例名	実施主体	概 要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
斐川町	アグリレス・ウェブネットワーク	『女性の発力あるづくり』 『女性行動力あるづくり』 『女性魅力あるづくり』	活動として、「商品開発」は、トマトゲチャップや規格外品を利用して「いちごジャム」等の付加価値商品を製造、道の駅等に出荷。「環境美化」は、町内を花で飾ろうと年間7千本の花苗を栽培。この他に「家庭菜園」「海外研修」「郷土料理」がある。イベントは「ひかわ女の夏まつり」を主催し、女性ならではの行事として親しまれる。その他の活動は、伝統芸能「銭太鼓」同好会等がある。	住民自治	3	問題解決	住民主導
出雲市 (旧佐田町)	出雲市佐田町川北	田植機、動力噴霧器等を活用した共同作業	個別に農作業を行うことが困難な状況が出てきたため、溝切機2台・動力噴霧器・乗用田植機(4条植)を購入し共同利用に付した。カメムシ被害に悩まされていたため、動力噴霧器導入により共同防除を行った。また、協定農用地への堆肥利用を推進するため、市内生産堆肥や和牛繁殖農家からの堆肥購入に対し、費用の一部に交付金を利用した助成を行った。	農林漁業	3	問題解決	行政主導
出雲市(旧平田市・旧佐田町・旧湖陵町・旧多伎町・旧大社町)	JAいずも農産物直売会、フアンズコーナー出荷者連絡協議会	『地域一体で地産地消推進』	出雲市等のJAいずも直営スーパー「ラビタ」の野菜直売コーナーと、同JA直営の産直市「ラ・ロッサ」を開設し販売を促進している。特徴は、品目毎に使用農業等を記入した栽培記録簿を各自が提出し、JA職員が安全確認した農産物のみを販売することになっている。	農林漁業	5	問題解決	行政主導
出雲市 (旧佐田町)	出雲市佐田町支所	地域自治組織と合併	町を13地区に分け、「コミュニティ・ブロック」による地域振興を実施。住民自らが自発的な活動を行うことが基本。地区のサークルやクラブを取り込みつつ、文化、体育、環境美化、産業などの部会を編成するなど、既存の組織をうまくまとめ、無理のない活動に心がけている。	まちづくり	1	問題解決	行政主導
出雲市 (旧佐田町)	毛津振興協議会	女性の参画を意識したりと実践活動	地域のことは地域で考えることを基本に、若者の参画を意識し、積極的に協議会の動きに取り込んでいる。福祉に関すること、無農薬野菜の生産・販売や化学洗剤を使わない運動などは、女性を中心に進めた。地区の5カ年計画の策定にも、女性や子どもの声が反映されている。	住民自治	1	問題解決	行政主導
出雲市 (旧佐田町)	佐田町銀山谷	木の国づくりと活力ある情報発信計画	「毛津地区振興協議会」を設立し、鎮守の杜整備、(憩いの広場づくり)散歩道・休息施設整備、看板外を行った。パソコンを整備し、インターネットホームページ「IKEZU」を開設した。郷土探索誌の発行も行った。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
出雲市 (旧佐田町)	グリーンライフ佐田21	対流は屋根(中国山地)を越えて	広島市から小学生を農業・自然体験(1泊2日)に招待し、5月は田植えといも苗植え、9月は稲刈りといも掘り、夏期は川遊びや野菜の収穫を行った。11月は大人を町の伝統芸能鑑賞(1泊2日)に招待、併せて町の施設や特産品を見学する。また、秋の己斐上公民館文化祭に参加(1泊2日)して、青空市(野菜販売や餅つき等)の出店や工芸教室を開催し、町の文化芸能を披露した。	グリーンツーリズム	6	問題解決	住民主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
出雲市 (旧佐田町)	出雲歌舞伎むらくも座	出雲歌舞伎の里づくり事業	歌舞伎を通じた国際交流〔外国人青年への歌舞伎指導や体験公演、各地出張公演。〕歌舞伎を通じた地域間交流〔山陰両県での交流、山陰・山陽・四国での技術交流や情報交換、歌舞伎にちなんだ町づくりを推進する町へ出張交流公演。〕出雲歌舞伎の復活上演と、伝承活動〔定期公演で復活上演し、記録保存。一般住民対象の「歌舞伎教室」開催と体験公演で普及活動。「子ども歌舞伎」や青年グループに指導、支援。〕歌舞伎を利用した地域活性化事業〔町の観光や行事のPR〕	歴史文化	4	個性伸長	住民主導
出雲市 (旧多伎町)	道の駅「キララ多伎」	日本海の新鮮な地物産品で137万人の交流	(1)クリーンな道の駅〔街道〔国道9号〕を行き交う人の休憩所であり交流の場でもあるが、徹底した管理による清潔さで来場者のハートを掴む。〕(2)年間を通じてイベント(主なものはゴールデンウィークカーニバル、夏祭(8月)、お魚祭(9月))を開催。(3)地物販売〔特産コーナー：地元の新鮮野菜、果実等。食材コーナー：地物の素材を使ったアイスやたこ焼きなど。〕	交流施設	3	問題解決	行政主導
出雲市 (旧多伎町)	多伎町	道の駅を中心とした交流人口の拡大	〔交流人口の拡大〕をコンセプトとして、〔道の駅キララ多伎〕を整備。〔ア、生産物直売・食材供給施設および他事業によりレストラン等施設を整備。イ、朝市グループの活動の場として直売施設を併設。ウ、地域住民の参加と連携により毎年夏祭りを開催。〕	グリーンツーリズム	3	問題解決	行政主導
出雲市 (旧多伎町)	城平あやめ会	環境美化と花いっぱい運動	ハナショウブ園に180種1,700株を栽培し管理している。開花期間中には幼児からお年寄りまで楽しめるよう一般に開放。また音楽会・撮影会などイベントを計画し実施している。研修会、講習会等も随時開催し、先進地視察等で栽培技術向上を図るとともにその普及に努める。	環境保全	2	問題解決	住民主導
出雲市 (旧多伎町)	レディースfig	女性グループが地域振興に貢献	道の駅「さらら多伎」を販売拠点として、いちじくの加工品開発を企画し、いちじくジャムや姿煮の開発に取り組んだ。さららにいちじく商品化開発グループ「レディースfig」が発足、「手作りの風味」を心がけた商品化可能なレシピを1年間かけて研究開発し、毎年度末に発表。このうち商品化されたものは大ヒットした「いちじくソフトクリーム」「クレープ」「シャーベット」「ジュース」など。	交流施設	5	問題解決	住民主導
出雲市 (旧多伎町)	たきファミリー	子どもたちが素朴な夢と感動を与え、創造性豊かな成長をはかる	親子で優れた舞台を鑑賞する機会を求めて、子どもを持つ町内の父母で結成。生の舞台芸術を主催、鑑賞している。	住民自治	2	個性伸長	住民主導
出雲市 (旧湖陵町)	企画集団パーバムーン	ずっとここにいたい、帰りたくない、そんなイベント作り	過疎地域の男女出会いの場作りを行っている。「ドリーミング愛LAND」「ドリーミングひなまつり」「ドリーミングさみっと」等の開催。	住民自治	2	問題解決	住民主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
大田市 (旧仁摩町)	シルバード計画推進協議会	21世紀をめざした老人の里づくり地域づくり	良質のワラと老人の知・力を生かしたわらじ、ぞうりの産地づくり。砂博物館、一年計砂時計の建設。都市交流事業（関東、関西地区仁摩町出身者の集い）、姉妹縁組広島県上下町との交流など。産業振興事業（魚まつりなど）。健康推進事業（ビーチバレーボール大会）。活力増進事業（老人クラブの運動会、人形劇活動）。イベント事業（時の祭典、ごいせ祭など）。	まちづくり	7	問題解決	行政主導
川本町、美郷町 (旧邑智町・旧大和村) 邑智郡(5町2村) 南町(旧瑞穂町・旧石見町) 須美村、江津市(旧桜江町)	邑智郡(5町2村)	悠邑ふるさと会館	広域を事業対象とする「悠邑ふるさと構想」を策定し、「悠邑ふるさと会館」を文化振興施設として完成させた。	地区施設整備	3	問題解決	行政主導
川本町	川本町白地	悠々ふれあい山里づくり	鳥獣被害対策を実施し、猪檻を設置。無人市による農産物販売や集落内の景観美化、パソコン教室を共同で取り組むことで協調性を養った。	環境保全	7	問題解決	行政主導
川本町	三原丸山草創会	丸山城跡保存で夢づくり	1. 円山山頂に電球(100個位)でイルミネーションを作り帰省客をなごませている。2. 各種の補助事業を取り入れ公園整備をしている。現在、ミニ公園(仮称散策の道公園)を作り登山者の休息の場を作っている。	道路・公園等の施設整備	3	問題解決	住民主導
川本町	ふれあい公園 笹遊里	ふれあい公園 笹遊里	県内で1番高い三瓶山を眺める位置にある宿。周辺には四季折々の花が咲いて季節の移り変わりを身近に感じられる。ターゲットハードゴルフというスポーツが楽しめる施設もある。	交流施設	3	個性伸長	行政主導
川本町	川本町市	高齢者いきいきネットづくり事業	パソコン教室を開催し、パソコンの操作を習得して日々の生活に活用。	住民自治	3	個性伸長	行政主導
川本町	お父さんの料理実習	単身赴任者の偏りがちな食生活と地元在住者との親睦	料理サミットの開催、毎月1回調理実習、1年1回食べ歩き、定期的に施設に寄付。	住民自治	2	個性伸長	住民主導
美郷町 (旧邑智町)	邑智町都市交流推進会議事務局	「田舎のもてなし」で続く交流	「交流人口づくり」として、都市側に向いて町をアピールし、都市交流事業のPRを行っている。「子ども交流」では、都市住民(己斐地区学区小学生)を招き、田植えや稲刈りなどの農作業体験を中心に、カヌー体験や星空観察等の田舎体験の交流を行っている。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
美郷町 (旧邑智町)	美郷町	連合自治会取り組みと合併に向けた町間の調整	美郷町は邑智町と大和村の合併により誕生。両町村では個々に地区担当制の導入と連合自治会によるまちづくりが行われてきたが、両町村の連合自治会の統一、職員担当制のすり合わせについて積極的に調整が行われている。	まちづくり	1	問題解決	行政主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
美郷町 (旧邑智町)	美郷町	様々な広がり の可能性 ーイノシシ 肉&農家レ ストラン	イノシシ肉から環境を考えると、 「[山くじら]」のネーミングでイノシシ肉の生産・販売を行っている。上川戸地区に1ターナー者が経営する農家レストランをオープンさせた。	交流施設	5	問題解決	行政主導
美郷町 (旧邑智町)	美郷町	最初は事業 要望が多 かった職 員の地区 担当制	町職員全員を17班に分けて地区担当制をとり、地域活動の支援を行ってきた。課題を住民と一緒に考えているという趣旨でスタートし、事業の説明と意見交換を行った。	まちづくり	1	問題解決	行政主導
美郷町 (旧大和村)	大和村比敷	21世紀の集 落づくり ふさと交 流	インターネットを活用して、農作物等の宣伝販売や集落の紹介、U・Iターンの募集等を行い、農事組合法人比敷ドリーの活動を充実させるとともに、集落出身者100名に集落情報誌を作成し送付した。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
美郷町 (旧大和村)	大和村都賀 本郷桐場	桐場組再生 計画	集落内の連絡、連携を密にし、インターネットを活用して、「桐場組情報」を発信(年2回程度)し、村内外の人々と幅広く交流。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
邑南町 (旧羽須美村)	日南川交流 会	～絵になる 地形の中 で、スロ ーラ提供! ～	日南川交流会が設立され、空き家であった古民家を改修して都市農村交流の拠点として活用。豊かな自然と谷あいの棚田地域の景観を活かし、「第2のふるさと」として都市住民に癒しの空間を提供している。	交流施設	3	問題解決	行政主導
邑南町 (旧羽須美村)	羽須美村青 石	青石共生コ ミュニ ネット	コミュニティネットワーク用機器(パソコン、プリンターほか)を整備し、インターネットを活用してネットワークづくりを行い、集落内での情報交換や遠く離れた子や孫などとmailを使って伝え合い接触の機会を増やした。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
邑南町 (旧羽須美村)	羽須美村後 谷	地域ナンバ ー1集落づ くり推進計 画	レクリエーション会の開催(輪投げ、ビリヤード、ミニボウリング、クオリティ)やパソコン教室の開催等で集会所を活用し、住民間の親睦を深めた。	住民自治	2	個性伸長	行政主導
邑南町 (旧瑞穂町)	瑞穂町観音 寺原	ITで農業・ 民宿いき いき計画	農業の経費削減と合理化のために機械の共同利用に取り組むとともに、インターネットを利用した情報発信により農産物の販路拡大と民宿の顧客獲得に取り組んだ。	地区施設 整備	1	問題解決	行政主導
邑南町 (旧瑞穂町)	民宿 日高	民宿 日高	地元の川で捕れたコイを使った料理(コイこく、刺身)や鴨鍋が自慢の宿。体験として、田植え(5月上旬)、稲刈り(9月上～中旬)、菜園では野菜の収穫やジャガイモ、サツマイモ掘り、香木の森でのハーブの鉢植え(5月上旬～8月下旬)、ヤマメのつかみどり(7月上旬～8月下旬)ができる。	交流施設	3	個性伸長	住民主導
邑南町 (旧瑞穂町)	WOODY 丸瀬	WOODY 丸瀬	澄んだ空気、青い空、大自然に心癒される宿。体験として、どうもうごし狩り(7～8月)、香木の森でのハーブの鉢植え(5～8月)、ヤマメのつかみどり(7～8月)ができる。	交流施設	3	個性伸長	住民主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
邑南町 (旧石見町)	石見町企画 財政課	和やかで温 もりのある 町を～女性 ～農村産 品による 地域自立 活性化策	リフレッシュ空間「香木の森公園」を整 備。農村での生活経験のない都会の女性 に農業体験やハーブ研修等を行う事業を 実施。住民が行政と一体となって付加価 値の高い有機農業に取り組み、産直や直 売方式により農業の活性化を図っている。	交流施設	3	問題解決	行政 主導
邑南町 (旧石見町)	石見町	「香木の森 公園」から 都市へ向け て“情報発 信”	新林業構造改善事業と森林総合利用促進 事業で「香木の森公園」の主要施設が建 設された。基盤整備に始まり、テニスコ ートや丸太遊具の整備、公園内の核とな る総合案内施設「香夢里」やバンガロ ンも建設した。また、「ゆとり体感・イン ・アロマティック石見」事業をスタート させた。独身女性を対象に「クリエイティブ スタッフ（6名）」として1年間本町に滞 在して農村生活を体感し、公園内専用宿 泊施設で協同生活を営むものである。	交流施設	3	問題解決	行政 主導
邑南町 (旧石見町)	石見町金比 羅	こんびらの 里づくり	集落の活動拠点を新たに整備（空き家の 改修、備品）し、互いの交流を深めると ともに、健康管理に努め、助け合いなが ら集落を維持。	地区施設 整備	3	問題解決	行政 主導
邑南町 (旧石見町)	石見国際農 村塾	農業後継者 に国際的視 野を	1.「安心して食べてもらえるものづく り」「顔の見える農業」を目指した無添 加みその製造販売、生産者の名前が入 った有機野菜の無人販売。2.文化交流を 目的としたフランス市の訪問、農業研修 生の派遣、中学生のホームステイ等。『ア メリカ農業報告書』『研修ビデオ』『邑 智郡学生アメリカ研修報告書』を出版した。	まちづく り	5	問題解決	住民 主導
邑南町 (旧石見町)	農林漁業体 験施設香遊 館	農林漁業体 験施設香遊 館	地域の食材を利用した料理を提供するコー ナーのほか、多目的ホール、体験実習 室がある。いわみ温泉霧の湯が隣接して おり、露天風呂から絶景を眺めることが できる。ハーブや木の実などを使ってリ ースなどをつくる体験は通年をとおして 体験でき、10月～4月に行う炭焼き体 験では原木の釜入れから釜だしまで体験 できる。	交流施設	3	個性伸 長	行政 主導
江津市 (旧桜江町)	桜江太鼓	未来に生き る郷土の音	農村の隅々にまで出掛けて、土地の人と 交流を深めている。また福祉施設の訪問 や地域行事にとけ込み、地域の文化の担 い手を目指している。国際交流としては フランスバルサイユ祭参加、韓国、サイ ールの打楽器集団と「しまね座公演」を 通じて交流した。	歴史文化	2	問題解決	住民 主導
江津市 (旧桜江町)	さくらえい さいきワー カー	在宅高齢者 のボラン ティア	「さくらえいさいきワーカー」を結成し、 「あんしん・ねっと・さくらえい」という 新制度をスタートした。家事援助や介護 サービス（1時間450円の有償だが、「ふ くまでもボランティア心での活動）、「ふ れあいサロン（ミニデイサービス）」活 動を展開している。	まちづく り	6	問題解決	住民 主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概 要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
浜田市 (旧金城町)	金城町農村生活体験交流推進協議会事務局	「重点地区を設定して交流」	重点地区を設定して、各地区内の公民館の祭りに特産品の出展、石見神楽の上演等を行い同町のPRに取り組んでいる。また、重点地区やPRセンターを通して申し込まれた住民に同町を訪れてもらい、各種施設を利用した農村体験(乗馬、ちぎり絵制作、神楽玩具面絵付け等)を日帰りで楽しんでもらっている。	グリーンツーリズム	3	問題解決	行政主導
浜田市 (旧金城町)	サウンドファイブ夢の音会	サウンドファイブ夢の音会による地域づくり	研修・宿泊施設「森の公民館」(町施設)ほか「夢の音村」の管理運営、それらを活用し交流事業や研修事業を実施している。森の公民館「交流サロン」、森の公民館スクール、森の公民館応援団「夏の交流会」等。	交流施設	2	問題解決	行政主導
浜田市 (旧金城町)	かなぎウエスタディングパーククラブハウス	かなぎウエスタディングパーククラブハウス	乗馬や馬車が年間通じて楽しめる。各種乗馬コースがあり、雨天でも室内で乗馬できる(指導員付き)。ふれあいワンダフル広場では、かわいい犬たちと触れ合える。夏休みには親子乗馬自然体験スクールも行われる。森林公園では、雄大な自然の中でアウトドアライフを楽しめる。	交流施設	3	個性伸長	住民主導
浜田市 (旧旭町)	旭町 中重富集落協定	そろそろやろやろ！集落営農	野菜市グループ「やつおもて」を組織し、高齢者を中心とした無人市を開設している。県の支援事業でパソコンを導入し、インターネットによる情報発信や野菜市の規模拡大に取り組み、無人市から当番制の有人市へリニューアルした。これにより、高齢者から若者まで世代間を越えた交流を展開した。	農林漁業	6	問題解決	行政主導
浜田市 (旧旭町)	旭町 上重富、下重富	誰もができる野菜の里づくり	パソコンを整備し、インターネットホームページの開設(無人市の商品宣伝、都市存在の地域出身者へのふるさと情報発信等)。青空市「やつおもて野菜市」を充実(施設の増改築)させた。	地区施設整備	3	問題解決	行政主導
浜田市 (旧三隅町)	三隅町	伝統農業を生かした地域づくり	ブータン王国との交流を通して、国際交流への関心と必要性についてパンフレットの作成などを行い、啓発に努めている。石州半紙技術者が中心になり研修員を積極的に受け入れている。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
浜田市 (旧三隅町)	アゼーリ	熟き吐息を我が町に	女性の感性を生かした文化芸術を通じたまちづくり活動を進めている。イベント「水澄みの里へのメッセージ」の開催等。	まちづくり	2	問題解決	住民主導
浜田市 (旧三隅町)	さらく草	遊気で心を育てませんか	楽しく遊べる機会の設定とそのきっかけづくり。1.歌のつどい(月1回) 2.陶芸教室(月1回) 3.俳句教室(2月1回) 4.俳画教室(年3回) 5.昔の遊び道具作り教室 6.その他イベントの開催	住民自治	2	個性伸長	住民主導
益田市 (旧美都町)	美都町	さくらの新発見・新情報	「桜と袖子の温泉のまちづくり」をキャッチフレーズに地域振興に取り組んでいる。町内には、県指定文化財・天然記念物に指定されている「金谷城山桜」がシンボルとしてあり、現在「美都町桜の会」を中心として、桜の苗木の植栽と桜愛護の活動に取り組んでいる。	まちづくり	7	問題解決	行政主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
益田市 (旧匹見町)	匹見町	遊木の里づくり	活動母体として「遊木民倶楽部」を設立し、官民一体となった会員の参画型活動を基本に、自然や森林のあり方を学ぶ体験学習、都市交流による山村活性化を目的にした活動である。「雪山遊び」「遊木自然の恵み市」の開催、「木を媒体とした地域起こしと遊木民倶楽部」と称したパネルディスカッションを行った。	環境保全	2	問題解決	行政主導
津和野町	民宿 星旅館	民宿 星旅館	日本海で捕れる新鮮な魚介類と自家産の野菜や山菜を使った和風料理でもてなしてくれる宿。染色した和紙で和紙人形を作る体験、竹とんぼ、竹体操人形などの竹細工体験、草履などをつくるワラ細工体験がある。町内にオープンした体験施設でいろいろな体験ができる。	交流施設	3	個性伸長	住民主導
津和野町 (旧日原町)	日原町堤田	地域の担い手育成に集落全戸加入の組織が全面支援	農家・非農家が一体となった組織「堤田営農研究会」が活動を行っている。①農働化や後継者のいない農家の農用地の利用調整を行っている。②共同利用施設・機械の導入；各種補助事業の導入に当たり、資金面からバックアップしている。	農林漁業	6	問題解決	行政主導
津和野町 (旧日原町)	明日の左鏡を創る会	夢とあふれる地域（世交代）	地域住民の意識調査、大学教授を招いての講習会や座談会など。また、先進地視察などを行っている。花いっぱい運動、環境美化運動を地域一丸となって取り組む活動している。また、他都市との交流を深める活動も行っている。「千成ひょうたん」（年2回）出版。	環境保全	3	問題解決	住民主導
津和野町 (旧日原町)	パッション21協議会	今、熱く燃やせ日原の若者を	日原町に町外の女性を招き、町内の男性と高津川を利用したカヌー教室をすることによって、若者男女の交流を図る。	まちづくり	2	問題解決	住民主導
吉賀町 (旧柿木村)	助はんどうの会	『棚田保全活動を通じて地域振興』	「大井谷棚田祭り」（毎年収穫後の秋に開催）、棚田オーナー制度（都市住民を対象に年3回の農作業を体験し、ほかの農作業はオーナー受け入れ農家が行う）、棚田トラスト制度（都市住民を対象に、棚田保全を支援したい人やグループからの出資を募り、棚田の景観保全や管理経費等に充てるもの）等があり、棚田保全と地域振興を実践している。	農林漁業	3	問題解決	行政主導
吉賀町 (旧柿木村)	柿木村桃谷	桃谷集落大改造計画	都市住民や色々な人との交流や地域の行事を積極的に行うため、集会所の整備とバス停補修、集落活動用備品の整備（パソコン、除雪機等を購入）。	地区施設整備	3	問題解決	行政主導
吉賀町 (旧柿木村)	柿木村相生下	相生下集落IT革命	パソコンを購入し各戸に貸与し、インターネットを活用することで、集落内の情報伝達を速くするとともに、行政、医療、教育機関等との情報交換ができるようにした。	地区施設整備	3	問題解決	行政主導
吉賀町 (旧柿木村)	柿木村口屋	口屋集落近代化計画	高齢者の連絡手段として、及びいきがい対策としてパソコンを各戸に貸与、高齢者にパソコンを活用してもらうため、各戸訪問式のパソコン研修を行った。	住民自治	1	個性伸長	行政主導

中山間地域における地域づくり事例分析からみた、
地域づくり手法に関する考察

市町村名	事例名	実施主体	概 要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
吉賀町 (旧六日市中町)	六日市町三助、仲の原上、仲の原中	注連川西地区集会所用地取得	集会所を地区の中心に建設し、伝統行事の実行・伝承、交流の拠点としての活用、パソコン教室や生涯学習の場として活用。	地区施設整備	1	問題解決	行政主導
吉賀町 (旧六日市中町)	田野原若杉会	古代杉と水源保護	とんど焼き、水源祭り、雨ごい神事、盆踊り、カラオケ大会、子供みこし、もちつき等の開催。	環境保全	2	問題解決	住民主導
吉賀町 (旧六日市中町)	むいかいち文化心耕団	文化は、心を耕し、人を創る	1.野点。2.レコード鑑賞会。3.七夕コンサート。4.地芝居とふるさと芸能。5.榎ノ木コーラス。6.ジャズフェスティバル等の開催。また、世界の音楽祭の開催を予定。	歴史文化	2	個性伸長	住民主導
吉賀町 (旧六日市中町)	輪塾	地域リーダー育成	塾生8名によるフリーターキング。講師を招いての講習会や学習会を開催している。最近では他グループとの交流、情報交換なども行っている。	住民自治	2	個性伸長	住民主導
隠岐の島町 (旧西郷町)	隠岐の島町西村池田	耕作放棄地の発生防止に集落で取り組む	農作業の受委託も進み難い状況が生まれていたため、集落内の耕作放棄地の発生防止を目的に、中山間地域等直接支払制度に取り組みこととなった。共同取組活動により遊休農地の管理等を行い、耕作放棄地の発生防止に努めている。	農林漁業	4	問題解決	行政主導
隠岐の島町 (旧西郷町・旧布施村・旧五箇村・旧都万士町・海ノ島町、知夫村)	(株)隠岐振興、隠岐郡内各町村	離島間超高速船就航事業	超高速船の運航主体として、島根県、隠岐郡内7町村、民間企業からの出資により(株)隠岐振興を設立。隠岐と境港、七瀬、加賀の各港を結んでおり、隠岐と本土間の交通利便性を高め、観光入込の増大に結びつける。	まちづくり	3	問題解決	行政主導
隠岐の島町 (旧西郷町)	隠岐いぐり風保存会	隠岐いぐり風まつり	1.隠岐いぐり風まつり。2.島まつりの準備。3.第3回ホノルルフェスティバルの参加。4.保存伝承のための会員の募集。『隠岐いぐり風制作テキスト』を出版。	歴史文化	3	問題解決	住民主導
隠岐の島町 (旧西郷町)	みんなで文化を育てる会	文化を通してまちづくり	より充実された生活を追求し「文化を育てる」ために、ささやかな力と知恵を寄せ合って何かをしようとする。コンサート、演劇、落語等いろいろな部門にトライし、一流の文化に接する機会をつくった。	まちづくり	2	問題解決	住民主導
隠岐の島町 (旧西郷町)	武良おふくの里	『人、環境に優しい加工品と野菜の販売』	加工と販売は青空市「おふくの里」で行い、健康に配慮した減塩惣菜(煮物、天ぷら、サラダ等、約20種類)を始め、いづれも地元産を主原料としたみそ、餅、ポン菓子、焼き菓子等の加工販売を実施している。さらに地区内の独居高齢者には宅配サービスも行っている。	農林漁業	5	問題解決	住民主導
隠岐の島町 (旧西郷町)	西郷町まちづくり運動協議会	豊かな郷土とふれあいづくり	1.花いっぱい運動。2.海川をきれいにする運動。3.健康をたかめる運動。4.物を大切に作る運動。5.交通規則を守る運動。6.学習し向上心を養う運動。7.青少年健全育成運動。8.人をいたわり親切にする運動。	環境保全	3	個性伸長	行政主導
隠岐の島町 (旧五箇村)	隠岐の島町山田集落	電気牧柵を使って放牧し、農地管理の省力化を推進	担い手への農作業の受委託や農地の集積の推進、畜産と連携した堆きゅう肥の施肥や簡易放牧等で、農地の地力増進や維持管理の省力化を進める取り組みを行っている。	農林漁業	4	問題解決	行政主導

市町村名	事例名	実施主体	概要	資源	効果	問題解決・個性伸長	住民主導・行政主導
隠岐の島町 (旧五箇村)	久見特産品加工グループ	『島の特産物を活かした、漁村活性化による様々な加工品開発』	地元特産物の天然ワカメ、とびうお、あじ、さば等を、塩漬け、薫製、煮干し、みりん干しに加工し、新商品を次々と開発した。近年では、「きざえおこわ」、地元産もち米による餅つきの実演販売等、各種イベント行事に出展している。また、隠岐和牛の「ヒーフジャーキー」、隠岐シャクナゲの花びら入り煎餅、イカスミ煎餅、そば粉入り煎餅づくり等にも挑戦し、主力製品になっている。	農林漁業	5	問題解決	住民主導
隠岐の島町 (旧都万村)	「都万村自然体験村」実行委員会	「目をさまざま遊ぼう！ゴゴロDNA」都万村自然体験村	年1回の都市と地元の小学生を対象とした交流事業で、小学校での宿泊、隠岐島で一番高い山でのキャンプ、ホームステイをしながら、定置網漁、闘牛の飼育、田舎暮らし、海遊び、シーカヤックを使って無人島での釣りや自然観察、炭焼き小屋で炭焼き、魚の調理、夕方からの白いか釣り等の自然体験を実施している。	グリーンツーリズム	3	問題解決	行政主導
隠岐の島町 (旧都万村)	都万村蛸木地区	豊かで住みやすい漁村づくり	暮らしの利便性・安全性・快適性の向上を図るとともに漁村における多面的機能の活用による地域の活性化に関する事業であり、漁業集落道、防火安全、緑地広場、漁業集落排水処理施設の整備を行った。	道路・公園等の施設整備	3	問題解決	行政主導
海士町	キンニャセンター「しやん山」	『離島のフェリタレミナルを活用した自由市場』	地元の農産物を販売するため、キンニャモニャセンター「しやん山」としてオープンした。同センター内にあるレストランにも地元食材を提供するとともに、惣菜品として付加価値を付け、同直売所での販売を開始した。西ノ島町、西郷町(現隠岐の島町)の小売店にも納入している。	地区施設整備	5	問題解決	行政主導
海士町	海士町青年団	マリンスポーツを通しての交流活動	おきFM、マリンスポーツを通しての交流活動。	まちづくり	2	個性伸長	行政主導
西ノ島町	西ノ島町三度	飼料作物生産による耕作放棄地の防止	地区の周辺が公共牧野と隣接しており、西ノ島町独特の公共牧野を利用した放牧により低コスト・省労働経営が行われている。協定締結地では、転作田による飼料作物を生産し、協定者の自作地以外では利用権設定による耕作による耕作放棄地の発生を防いでいる。また、それに伴い農道・畦道の管理、草刈等を行っている。	農林漁業	4	問題解決	行政主導

(注) 市町村名は、現在のもの。

凡例/効果

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 計画等がまとまったこと | 2. イベント、ワークショップなどが実施された |
| 3. 地域が活性化した、にぎやかになった | 4. 地域の人材が育った |
| 5. 商品化やビジネスに結びついた | 6. 住民組織、NPOが組織された |
| 7. 誇りを感じる地域となった | |